

2019年（令和元年）度 事業報告

～支え合い、助け合い、励ましあって、つながる福祉～

社会福祉法人 宇治市社会福祉協議会
（コラボネット宇治）

目 次

令和元年度 ふりかえり2
第1章 第4次宇治市地域福祉活動計画策定を通して今後の地域福祉活動支援を考える3
第2章 住民参加による地域福祉推進を行い、福祉活動に関わる参加者層を広げる4
第3章 各種相談から生活課題を把握し解決を図る40
第4章 法人運営の強化と財源づくりの強化に努める53

【アイコン表示について】各活動の財源が分かるアイコンを表示しています。

宇治 社協	会費収入等の独自財源、 基金の運用益を元にし て実施する事業に表示。	赤い 羽根	赤い羽根共同募金の 配分金で実施する 事業に表示。	歳末 募金	歳末たすけあい募金の 配分金で実施している 事業に表示。
利用 負担	参加者や利用者からの 負担金により実施する 事業に表示。	補助 委託	宇治市や京都府社協から の委託金や補助金、助成 金により実施する事業に 表示。		

令和元年度 ふりかえり

令和元年度は、関東地方を中心に、多くの災害が発生した 1 年でした。また、令和 2 年 2 月下旬からは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために多くの地域福祉活動が、中止、休止を余儀なくされました。改めて、「日常」の活動が何を大切にして行われてきたのかを、振り返る機会になっています。

令和元年度は、①第4次宇治市地域福祉活動計画策定を通して今後の地域福祉活動支援を考える②支え手のすそ野拡大に努める③相談事業から、生活課題を把握、解決に向けた展開を図る④活動を支える財源づくりに努める、の 4 点の重点項目をあげて取り組みました。

第 4 次宇治市地域福祉活動計画の策定を進める上で、職員の価値や当会の強みや課題を確認し合う機会を持ちました。時間のかかる作業ではありましたが、地域福祉の推進を図る職員の専門性を改めて問い直す機会になりました。令和2年度は、策定に向けて本格的に動くこととなりますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための影響は大きく受けると考えられるため、策定委員長をはじめとする皆さんと協議をしながら、進めていきたいと考えています。

支え手のすそ野拡大については、学区福祉委員会連絡協議会とともに実施している福祉委員募集強化月間の取り組みや、ボランティア活動センターのボランティア・マッチングサロンなどの取り組み支援などを行ってきました。学習支援事業などにおいても、大学生の参加呼びかけで、京都文教大学のボランティア演習などと協力をしながら行っています。しかしながら、大きな変化には至りませんでした。方法、PR の工夫を重ねて、今後も取り組みを進めていきたいと考えています。

相談事業から、生活課題を把握、解決に向けた展開を図る点については、地域共生社会推進事業などの相談を通じて、不登校の子の支援を IT を活用し取り組みを助成金に結び付けていくなど、これまでにない支援を打ち出す団体への応援ができてきています。また、生活相談などふれあい福祉センターなどに寄せられる相談は、相談者の心に寄り添って相談対応を重ねており、「つなぐ」だけではない相談対応が続くこともあります。特に 2 月下旬以降の新型コロナウイルス感染症拡大防止を受けての社会の変化では、3 月 25 日から始まった、緊急小口資金特例貸付の相談が、報道が出た直後から集中しており、多くの相談が、年度内の 5 日間でも寄せられています。まさに、社会不安を表しており、市民の生活状況がかなりひっ迫してきている印象を持っています。

活動を支える財源づくりにしても、有効な手立ては見いだせないままとなっていますが、新体制となった三役会では、財政基盤や構造についても検討する委員会の設置なども提案されています。三役会では、職員の資質向上や平成 30 年度下半期から取り組んでいる勤務体制のあり方の検討とも併せて、組織基盤についての協議を行っています。今後はその点についても協議を重ねていく必要があります。

令和 2 年度に向けて大きな改正として、きょうと地域福祉実践交流会の実施を受けての、福祉まつりの休止、住民会員募集の際の福祉活動費(会費寄附金の10%)の金額の下限の設定などの方向転換を行うことも、理事会、評議員会で議論してきました。財源づくりを進める一方で、事業事務の効率化等も図りながら、より一層地域福祉推進のための取り組みを進めていきます。

第1章

第4次宇治市地域福祉活動計画策定を通して今後の地域福祉活動支援を考える

住民参加により第4次宇治市地域福祉活動計画策定を通して、住民福祉活動の今後の展開を考えてきました。また、そのための当会の組織運営のあり方についても三役会を中心に議論を進めてきました。

1. 第4次宇治市地域福祉活動計画の策定

第3次宇治市地域福祉活動計画の総括をし、第4次宇治市地域福祉活動計画の策定を行っています。上半期は、アドバイザーとして大谷大学の志藤修史先生にご教授をいただきながら担当で協議を進めました。

(職員間でのふりかえり)

実施日	①令和元年10月11日(金)14:00~17:00 ②令和元年11月29日(金)14:00~17:00 ③令和2年2月19日(水)14:00~17:00
実施場所	宇治市総合福祉会館
実施目的	第3次宇治市地域福祉活動計画を職員がどう進めてきたのかのふりかえり
参加者	①職員9名、京都府社協1名、志藤先生 ②職員9名、京都府社協1名、志藤先生 ③職員7名、志藤先生
内容	①、②ふりかえりシートに基づく各人のふりかえりの共有 ③第4次宇治市地域福祉活動計画の策定を通して大事にしたいこと、社協職員の専門性の確認
実施して	職員間のふりかえりにおいて、自分たちの大切にしていることを語りあいました。その中で、改めて社協職員の専門性を確認し、地域に何をどう伝えていくのかを考える機会になりました。

(策定委員会)

実施日	令和2年3月31日(火)14:00~16:00
実施場所	宇治市総合福祉会館
実施目的	第4次宇治市地域福祉活動計画の策定のタイムスケジュールと、職員のふりかえりの共有
参加者	策定委員13名、会長、事務局4名
内容	職員間で行ったふりかえりの共有と今後のタイムスケジュールについての協議
実施して	新型コロナウイルス感染症拡大を受け、タイムスケジュールについても柔軟な対応をすること等を確認いただきました。

第2章 住民参加による地域福祉推進を行い、福祉活動に関わる参加者層を広げる

第3次宇治市地域福祉活動計画で掲げている「未認識者層」や「未参加者層」から、福祉活動に参加する人、参画する人を増やしなが、地域福祉活動の推進を図ってきました。また、今活動に参加、参画する人からの相談を受け止め、「暮らしやすいまち」の実現に向け、住民参加による地域福祉の推進を図ってきました。



1. 学区福祉委員会等の住民主体による活動への相談・支援

日常生活圏域をベースにした地域担当制を敷き、その地域内にある小地域福祉活動の情報把握や小地域包括ケア会議への参加などを通じて、福祉関係機関との連携を図り、学区福祉委員会等の住民福祉活動への相談と効果的な支援を行っています。また、学区福祉委員会連絡協議会の事務局として支援しています。

(1) 学区福祉委員会への支援・協働

地域担当者4名で宇治市内21の学区福祉委員会と1地区社会福祉協議会(西小倉学区・北小倉学区・南小倉学区)を担当して、役員会等への参加や活動への情報提供などを通じて、各小学校区の地域福祉活動が発展するようコーディネーターとしての支援活動を行っています。

(学区福祉委員会支援のための各種補助金)

種類	目的	補助金額
①福祉活動費	学区福祉委員会の運営費、活動費	各小学校区の市社協会費・寄付金の20%及び事業所会費の40%を交付
②事業費補助金	地域ごとに特色のある地域福祉活動にかかる活動費	1学区あたり、4事業実施で上限175,000円
③一人暮らし高齢者訪問活動事業補助金	月1回以上の訪問や生活支援時に配布する記念品等に要する費用	対象者1人につき年額1,000円
④一人暮らし高齢者給配食事業補助金	一人暮らし高齢者等への声かけ、見守りを兼ねた給配食活動の費用	1食あたり350円
⑤歳末たすけあい「ふれあい」事業補助金	年末、年始に行われる見守り活動、住民交流事業等に要する費用	対象者1人につき年額1,000円(上限150人) または1学区上限130,000円

(学区別一人暮らし高齢者等訪問事業)

学区名	訪問実績対象者数(名)		
	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
木幡	59	-	-
宇治	184	174	171
岡屋	96	96	102
南部	140	143	148
菟道	175	167	156
菟道第二	143	151	144
神明	173	175	175
大開	111	113	113
大久保	26	27	23
西大久保	102	98	101
伊勢田	109	127	122
小倉	206	207	185
西小倉地区社協	95	85	89
槇島	202	202	235
訪問対象者数	1,821	1,765	1,764

(学区別一人暮らし高齢者等給配食事業)

学区名	給配食実績数(食)		
	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
御蔵山	154	162	144
木幡	114	-	-
宇治	1,042	985	1,032
岡屋	166	138	156
南部	220	317	345
三室戸	613	557	581
菟道	107	135	74
菟道第二	309	252	233
神明	542	600	843
大開	469	458	356
大久保	572	580	259
平盛	152	180	190
伊勢田	138	135	131
小倉	545	589	622

西小倉地区社協	1,917	1,721	1,618
槇島	1,200	1,338	1,200
北槇島	143	139	145
合計	8,403	8,286	7,929

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、給配食について令和2年3月に14学区が中止をされていて、訪問活動については、5学区が中止しています。

(令和元年度 地域ひとつなぎ事業の助成状況)

	団体名	戸別 訪問	配食	電話	その他	助成額(円)
1	神明学区福祉委員会	○	○	○		38,000
2	アルス・シルバー会	○		○	○	19,000
3	一里塚喜老会(さわらび会)	○	○	○		19,000
4	南陵町喜楽会	○		○	○	19,000
5	特定非営利活動法人善法雇用促進協議会	○				38,000
6	中宇治喜楽会	○		○	○	28,500
7	小倉喜老会	○		○	○	19,000
8	槇島東喜老会	○				19,000
9	ユニ宇治川マンション自主防災組織 防災会	○		○	○	28,500
10	城南荘喜老会	○			○	28,500
11	名木喜老会	○				19,000
12	伊勢田喜老会	○	○	○	○	28,500
13	北堀池ローマンクラブ	○	○	○	○	19,000
14	砂田喜老会	○	○	○	○	19,000
15	宇治学区福祉委員会	○	○	○		38,000
16	西岡屋喜老会	○	○	○	○	19,000
17	おりさか悠々クラブ	○	○			28,500
18	大和田もみじ会	○		○	○	19,000
19	西小倉地区寿喜老会	○			○	19,000
20	南大久保喜老会	○	○	○		19,000
21	心ぽかぽか和みの会	○		○		28,500
22	西大久保自治喜老会	○		○		28,500
計	22 団体	22	9	16	12	541,500

(3) 木幡学区福祉委員会解散後の木幡地域への関わり

平成30年度に引き続き、木幡地域の“いま”や“思い”を語り合い、「こんなのがあればいいな」「こんな活動ができたらいいな」を共有し、学び合う懇談会を実施しました。

令和元年度は、この懇談会で出た意見を具体的に形にしてみるということも想定して、平成30年度の懇談会に参加されていた方の中から、協議と企画を中心的に進めていただく方にお声かけをして、少人数の形で懇談会を進めました。

「地域で色々な人が交わったり、様々な地元密着の情報が知れる、そんな拠点があるといいね」という意見が共有できたことを受け、「まずは、具体的にやってみる」に取り組みました。

(木幡地域懇談会開催状況)

・参加メンバー

- ・六地蔵駅前の花壇整備などされているグリーンボランティア
- ・地域のふれあいサロン活動者
- ・地元の民生委員
- ・介護者家族の会や地元の木幡区の役員
- ・地元在住の大学生

(開催内容) (参加者には事務局人数含まず)

回	実施日時	実施場所	参加者数
第1回	令和元年8月28日(水)13:30~16:45	木幡地域福祉センター	7名
内容	<p>・木幡の町を良くしたいという思いの共有</p> <p>・木幡に住んでいる中で、どんなことが気になっているか</p> <p>(結果)</p> <p>まずは、人と人が何気なく話したり、ちょっとした悩みを聞いてもらえたり、地元の情報を知れたりする、「身近な拠点」づくりを進めることを確認しました。</p>		
第2回	令和元年10月3日(木)14:00~17:00	コミュニティワークこはた館	9名
内容	<p>・第1回目が出た「身近な拠点」の目的・ねらいの確認</p> <p>・何気なく地域のことを話せる場づくりがしてみたい。</p> <p>そのためには、何かの催しで参加してもらったり、ふと足を止めてくれる工夫が必要</p> <p>(結果)</p> <p>気軽に立ち寄って、話ができる場をまずはやってみようということで、地元野菜の路地売り、グリーンボランティアによる苔玉ワークショップと社協出張相談会のコラボ企画を実施することを確認しました。</p>		
第3回	令和元年11月9日(土)9:30~12:00	六地蔵公会堂	8名
内容	<p>・六地蔵公会堂にて開催する、「気軽に立ち寄って、話ができる場」に向けて、どのような準備を進めるかの協議。</p> <p>(結果)</p> <p>広報の方法や喫茶コーナー、当会の活動を知ってもらうための、パネル展示など企画の細部の確認ができました。</p>		
第4回	令和元年12月9日(月)10:00~12:00	六地蔵公会堂	8名
内容	<p>苔玉ワークショップ&社協出張相談会を実施。</p> <p>・六地蔵公会堂の外では地元野菜の路地売り。室内では、苔玉ワークショップや来場された方に当会の活動紹介。その後は、お茶を飲みながら、地域で気になっていることなどのおしゃべり。</p> <p>(結果)</p> <p>来場者は約15名でした。多くの来場者があった訳ではありませんが、道行く人やおしゃべりいただいた方から、「こういうのを定期的にすればいいのに」などのご意見をいただきました。当会としても、住民の皆さんと一緒に場を作る過程で、あれこれと地域について</p>		

	て話すことができ、形式を重視した懇談会に比べ一体感を持って「まずはやってみよう」を実現できました。		
第5回	令和2年2月20日(木)14:00~17:00	コミュニティワークこはた館	8名
内容	第4回のふり返りと今後についての懇談 ・初めて会う人と地域のことを話す難しさを実感しながらも、定期的に場を開催していくことで、もっといろいろな住民と話せる場が必要。 ・地域の中で、まず大事なのちよとしたことを話せる顔見知りづくり (結果) 今後、毎月18日に各種催しなどを絡めたり、お茶飲みできる場所を準備して、定期的に地域の人同士が何気にしゃべれる場を開催していくことが決まりました。		
第6回	令和2年3月18日(水)	コミュニティワークこはた館	
内容	コロナウイルス感染症拡大防止で中止		
今後について	今、参加していただいている皆さんが主体的に関わり、定期的な場の開催が進むよう当会として協働していきます。また、地元の区や自治会・町内会との連携を図りながら、木幡地域の中でのネットワークづくりを進めることの検討が必要です。 様々なワークショップや地域話題を取り上げた講演会などを開催しながら、懇談の場づくりに共感してもらえ、地元の人の輪を拡げていくことを提起していく予定です。		

(4) 学区福祉委員会連絡協議会への支援

学区福祉委員会連絡協議会(以下、学区連協)の事務局として、役員会(2回)や代表者会議(2回)の運営を支援し、市社協からの運営費補助を元に下記の事業に組み組むとともに、外部団体(宇治市要保護児童対策協議会、宇治市共同募金委員会、宇治市地域福祉推進委員会)への委員を選出しました。

学区福祉委員強化月間(2月1日~3月31日)として、福祉委員募集ポスターを各学区福祉委員会に配布。市政だよりへの掲載(2月1日号)、社協だより(3月15日号)で福祉委員募集の記事掲載を行いました。3月末で福祉委員への新規加入41名、退会28名という結果となりました。

(研修関係事業)

①生活支援体制整備事業「地域のお宝発表会」への参加

実施日	令和元年12月5日(木)13:30~16:30
実施場所	宇治茶会館
実施目的	地域の中での支え合いの基盤は「人と人とのつながり」であり、日頃のつながり作りには、日々の暮らしの中で「社会性」を高めることが大切であることを講演や実践報告から学ぶ。
参加者	学区福祉委員 25名
内容	①講演「つながりを基盤にした地域づくり、まちづくり」 ご近所福祉クリエイター 酒井 保氏 ②実践発表:ワイガヤサロン/診療所駐車場を借りての地域ラジオ体操
実施して	令和元年度は、「地域のお宝発表会」を研修の一環と位置付け、各学区福祉委員会に参加を呼びかけました。学区福祉委員の活動が高齢者のフレイル予防となっていると同時に、活動を担うことは、自分自身の社会性を高め、自身の介護

	予防につながっていることを再発見できました。また、実践発表では、地域の中での何気ないつながりが醸成されていることを学びあうことができました。
--	------------------------------------------------------------------------

②第8回きょうと地域福祉活動実践交流会(京都府版サミット)への参加

実施日	令和元年12月7日(土) 12:00~16:10
実施場所	京都府丹後文化会館・峰山地域公民館
実施目的	京都府内の地域福祉活動の実践を共有し、今後の活動に生かしていく。
参加者	13学区26名他、地域福祉推進委員、生活支援コーディネーター、事務局(宇治市地域福祉課、当会)計38名
内容	<p>1. 寸劇「オトばあちゃんの回覧版」(12:30~12:50)</p> <p>2. 基調講演「歴史から学ぶ支え合いのかたち」(12:50~13:35) 講師:公益財団法人さわやか福祉財団 会長 堀田 力氏</p> <p>3. 実践報告 (13:35~14:05)</p> <p>①NPO 法人 気張る!ふるさと丹後町 スマートフォンアプリ「Uber を使用した支え合い交通」</p> <p>②元町区福祉委員会 地域住民による地域住民のための生活援助</p> <p>4. ステージ発表:①ひまわり体操 ②展示:丹後を彩る福祉の次代</p> <p>5. クロージング「支え合いで創る地域のミライ」 講師:公益財団法人さわやか福祉財団 会長 堀田 力氏</p>
実施して	令和2年度に、山城北(宇城久)ブロックで開催が決まっている第9回の実践交流会の参考も兼ねての参加となりました。介護保険制度が限界を迎えている中で、個人のプライバシーに配慮しつつ、一人一人が対等な新たな地域の助け合いづくりが大切であること学びました。実践発表では、住民全体で取り組む地縁による支え合い活動とアプリを活用した新たな支え合い活動のそれぞれからの視点で、地域の中での支え合い活動にも多様性が必要であることを学びました。

(役員会)

実施日	①令和元年8月22日(木)19:30~21:00 ②令和2年2月28日(金)19:00~21:00
実施場所	①、②宇治市総合福祉会館
実施目的	①、②代表者会議に向けての確認
参加者	①役員6名、事務局1名 ②役員6名、事務局1名
内容	①令和元年度の事業について等 ②役員改選に向けて
実施して	代表者会議に諮る前のスムーズな議事進行になるように協議ができました。

(代表者会議)

実施日	①令和元年 8 月 29 日(木) 19:00~21:00 ②令和 2 年 3 月 24 日(火) 19:00~20:30
実施場所	①、②宇治市総合福祉会館
実施目的	①令和元年度の事業について ②福祉委員募集強化月間について、次期役員選出について
参加者	①学区福祉委員会代表者 16 名、事務局 4 名 ②学区福祉委員会代表者 17 名、事務局 4 名
内容	①令和元年度の事業について ②福祉委員募集強化月間について、次期役員選出について
実施して	研修や次期役員選出等について、協議をいただきました。3 月は新型コロナウイルス感染症拡大防止で開催が危ぶまれましたが、実施し、各学区福祉委員会の状況についても確認する機会になりました。

2. サロン活動の相談・支援



孤立予防と身近に支えあえる仲間づくりを目的に活動するHot!ふれあいサロンに対して、宇治市共同募金委員会から助成金が交付されています。当会では、高齢者、障がいのある方、児童や子育て中の親子などが孤立することなく、身近な地域で支え合える仲間づくりの場を促進するため、運営相談や活動助成を行いました。

ボランティアをされている方からは、「ここがないと生活にハリがなくて」「次はどんなことができるのかとても楽しみ」といったことを言ってもらえて、それがやりがいになっているという話をよく聞きます。サロンが開催できないときには訪問や電話などで声をかけておられるところもあり、サロン活動が地域でのゆるやかな関係づくりの一つになっていることが確認できました。

一方で、高齢化に伴い設営準備ができなかったり、人が集まらなかったりと、惜しくも解散を余儀なくされたという報告もありました。

(1) サロン助成金交付推移と一覧

110グループからサロン申請(助成金申請サロン102件、登録サロン8件)がありました。宇治市共同募金委員会の審査会を経て、102件に助成金交付を行いました。

(サロン登録内訳)

サロン分類	高齢者	高齢者・障がい者	障がい者	子育て	目的別その他
箇所数(割合)	91(82%)	3(3%)	3(3%)	12(11%)	1(1%)

(Hot!ふれあいサロン登録数及び助成金交付の推移)

年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
助成金総(円)	3,295,000	3,289,000	3,283,000
サロン数(登録のみ)	119(13)	114(7)	110(8)
新規登録数	8	9	8

(登録・助成サロン一覧)

No.	登録	サロン名	類型	会場校区	回数	決定金額(円)
1		榎島ホットサロン	テーマ	榎島	34	55,000
2		HOT ふれあいサロンかようかい	地縁	小倉	48	55,000
3		一福会	地縁	南部	24	37,000
4		野神ふれあいサロン	地縁	菟道第二	12	19,000
5		うたごえ喫茶のびのび	テーマ	宇治	12	19,000
6		ホットサロンやすらぎ	地縁	榎島	24	37,000
7	○	わくわくサロン	地縁	平盛	12	-
8		風車の会	地縁	宇治	11	19,000
9		Hot!ふれあいサロン「京かのこ」	地縁	木幡	11	19,000
10		ミニホットサロンひまわり	地縁	大久保	12	19,000
11		サロン広芝	地縁	宇治	11	19,000
12	○	御蔵山サロン	地縁	御蔵山	24	-
13		平尾ふれあいサロン	地縁	御蔵山	34	55,000
14	○	明星ホットサロン	地縁	三室戸	12	-
15		サロンピノキオ	地縁	木幡	12	19,000
16		HOT 蔭山サロン	地縁	小倉	12	19,000
17		ほっとふれあいサロンひまわり	地縁	宇治	12	10,000
18	○	よもやま会	地縁	北小倉	12	-
19		おこしやす	地縁	宇治	22	37,000
20		ともしび	地縁	西大久保	26	43,000
21		HOTふれあいサロン権現	地縁	菟道第二	10	19,000
22		HOT!ふれあいサロンユートピア	地縁	御蔵山	21	25,000
23		フレンドサロン	地縁	南部	12	19,000
24		南山ふれあいサロン	地縁	御蔵山	24	37,000
25		もみじ会	地縁	大久保	11	19,000
26		わかば会	地縁	榎島	12	19,000
27		折鶴サロン	地縁	菟道	24	36,000
28		どんぐりっこ	テーマ	伊勢田	41	55,000
29		喜楽会	地縁	榎島	12	19,000
30		ポヨポヨキッズ	テーマ	菟道第二	22	37,000
31		わんぱくクラブ	テーマ	大久保	36	55,000
32		ドラえもんサークル	テーマ	小倉	36	55,000
33		サロンお茶の子会	地縁	南部	12	19,000

34		ほっこりスペース あい	テーマ	御蔵山	60	55,000
35		HOTふれあいサロンあじさい	地縁	小倉	34	55,000
36		バルーンクラブ	テーマ	小倉	26	43,000
37		Toddlers ~トドラーズ~	テーマ	小倉	24	37,000
38		華連グループ	地縁	神明	12	19,000
39		きっずくらぶ	テーマ	岡屋	18	31,000
40	○	ふれあいサロン“はる”	地縁	木幡	24	-
41		むらさき気楽会	地縁	榎島	48	55,000
42		ホットサロンゆうゆう	地縁	岡屋	23	24,500
43		ズンドコサロン	地縁	西大久保	40	34,000
44		Hot!ふれあいサロンすみれ	地縁	小倉	10	19,000
45		ふれあいサロンやよい	地縁	木幡	12	19,000
46		フリースペース「おやすみ」	テーマ	西小倉	53	55,000
47		白寿お茶飲み会	地縁	宇治	20	31,000
48		くりくま健功会	健康	大久保	24	37,000
49		楽しく料理を作ろう会	テーマ	北榎島	12	19,000
50		北榎ハーモニー	地縁	北榎島	24	36,000
51		イキイキ教室203	健康	小倉	22	37,000
52		サロン妙楽	地縁	菟道	11	19,000
53		北内Hot!ふれあいサロン	地縁	榎島	14	25,000
54		子育てママのアカラグループ Twinkle Tweety	テーマ	岡屋	57	55,000
55		サロン車田	地縁	南部	12	19,000
56		ハモフレ	テーマ	神明	40	55,000
57		開ひまわり会	健康	神明	24	37,000
58		井戸端かふえ・まんぷくじゃ	テーマ	宇治	23	36,000
59		丸山はづきの会	地縁	南部	12	19,000
60		下村ほっとサロン	地縁	榎島	14	25,000
61		ホットふれあいサロンつるかめ	地縁	榎島	12	19,000
62		ほっとほっとサロン	地縁	宇治	17	25,000
63		色えんぴつ	地縁	御蔵山	45	55,000
64		多文化コミュニティグループ さらだぼうる	テーマ	菟道第二	30	49,000
65		おやこサロン にこにこたち	テーマ	菟道第二	11	19,000
66		ワクワク光	地縁	菟道	11	19,000
67		サロン榎の島	地縁	榎島	15	25,000
68		ふれあいサロンなでしこ	地縁	小倉	25	37,000
69		サロンふれあいの森	地縁	北榎島	50	55,000
70	○	楽老会	地縁	木幡	36	-
71	○	ふれあいひろば	地縁	岡屋	24	-
72		宇治に冒険遊び場をつくらう会	テーマ	宇治	12	19,000
73		ミニステージ・イン・宇治	テーマ	菟道	12	19,000

74		天神台ふれあいサロン絆	健康	神明	17	25,000
75		ふれあいサロン“はな,,	地縁	木幡	10	19,000
76		Hot!ふれあいサロン田原	地縁	西大久保	12	19,000
77		友和会	健康	小倉	12	19,000
78		サロン白川	地縁	菟道	17	25,000
79		ふれあいサロン川東	地縁	菟道	22	37,000
80		サロン絆	地縁	伊勢田	20	31,000
81		菟道北ふれあいサロン	地縁	宇治	34	53,500
82		サロンいきいき	健康	槇島	50	55,000
83		文化サロン「ゑん」	テーマ	大久保	12	19,000
84		落合元気アップ教室	健康	北槇島	24	37,000
85		サロン「水仙」	地縁	神明	11	19,000
86		福寿会	地縁	南小倉	11	19,000
87		あおぞら会	健康	木幡	12	19,000
88		ユニ宇治ふれあいカフェ	地縁	岡屋	11	19,000
89		放課後山の遊び場 KULKUL	テーマ	笠取第二	36	55,000
90		アルス、シルバー会	テーマ	木幡	22	31,000
91		羽戸山サロン	地縁	宇治	30	49,000
92		Hot 蔭山縁が和サロン	地縁	小倉	24	37,000
93		なかよし会	健康	木幡	18	31,000
94		ふれあいサロンひまわり	健康	槇島	14	25,000
95		ホットサロン月夜	地縁	槇島	14	25,000
96		イキイキの会	健康	槇島	25	37,000
97		南陵台唄声サロン「和み」	地縁	小倉	22	37,000
98		わかさ会	健康	菟道	27	20,000
99		城南荘 木曜カフェ	地縁	大開	23	37,000
100		金曜サロン	地縁	岡屋	52	55,000
101		サロン山の家	テーマ	笠取	48	55,000
102		かもめサロン麻雀倶楽部	地縁	大開	24	36,000
103		カフェすみやま	テーマ	笠取第二	20	31,000
104		笑う門には福来るの会	健康	神明	12	19,000
105		南陵町健康サロン「健やか」	健康	小倉	15	25,000
106		楽楽クラブ	テーマ	菟道	22	37,000
107		ことのは	テーマ	菟道	12	19,000
108		むらさき気楽会(木曜日)	健康	槇島	48	55,000
109		おこしやす	地縁	神明	12	19,000
110	○	サロン神明	地縁	神明	12	-

※平成30年度からは、宇治市共同募金委員会が直接配分を行っています。

(3) サロン研修会の開催

サロン同士の交流・情報交換のため、研修会を開催しました。

(サロン研修会の実施) ※B リハボランティア研修の再掲

実施日	令和元年11月27日(水) 14:00~15:30
実施場所	宇治市産業会館 多目的ホール
実施目的	他のサロンの背景、活動内容等を知り自身の活動に生かせるようにする 自分たちの活動を振り返る機会を設ける 他のサロンのボランティアと関われるきっかけ作り
参加者	53名
内容	サロンのボランティアから学ぼう～ボランティア研修会～ 前半 北楨ハーモニー・城南荘木曜カフェ両サロンからの実践報告 聞き手 京都府社会福祉協議会 足立 隆司氏 後半 “自分のサロンについて”グループワーク
実施して	皆さん実践報告者の発表を熱心に聞いておられました。グループワークで意見交換が止まらない様子から、他のサロンの話を聞くだけでなく、自分のサロンについて話をする機会の重要性を見出せました。



(サロン活動の報告)



(グループワークの報告)

3. 住民と協働による宇治ボランティア活動センター運営による地域福祉の推進

宇治
社協

住民との協働による宇治ボランティア活動センター運営を進め、ボランティア活動者のすそ野拡大に努めました。

(1) 宇治ボランティア活動センター運営委員会のかかわり

宇治ボランティア活動センターでは、毎月役員会と運営委員会が定例開催されています。当会事務局からも職員が1名、運営委員として参加し、役員会への出席、運営委員会への情報提供、ボランティア活動センター宛の文書の受付や他機関からの依頼事項の伝達、情報提供、催しの広報活動、各種申請手

続き、運営委員間の連絡調整等を行いました。住民との協働運営を軸に取組みを進めており、運営委員の主体的なかかわりを支援することや、当会の取組みへの参加協力の調整など、地域福祉の推進やボランティア活動の拡充のためにパートナーシップを大切に取組みを進めています。

現在宇治ボランティア活動センターには、個人登録者が約 180 名ありますが、個人登録者へのボランティア情報の伝達は広報紙の発送によるものが主であり、まだまだ個人ボランティアの力を活かしきれていない現状があります。その中で、令和元年度は、個人登録者への情報発信として、メーリングリストの試行が始まりました。また、市民による助け合い活動の展開にむけて、長岡京市社会福祉協議会の「くらしの応援隊」への視察を通じて、改めて活動に賛同していただける個人ボランティアの力が重要だと確認しました。1年を通じてのボランティア相談の中でも、男性からの相談が比較的多くあります。定年退職や様々なきっかけから「何かをはじめたい!」と思われたタイミングを逃さないために、今後の展開として、ボランティア活動を希望する方が、まず一度具体的に活動を体験できる場づくり(例:活動団体や福祉施設のお手伝いなど)について協議を進めます。



(ボランティアマッチングサロン(2ヶ月に1回))



(11/30 奈良市ボランティア連絡会との意見交流会)

(2) 宇治ボランティア活動センターの運営委員会との協働による取組み概要

実施日(頻度)	事業名	実施場所
毎月1回	役員会	総合福祉会館
毎月1回	運営委員会	総合福祉会館
毎月11日	イエローシートキャンペーン	イオン久御山
年数回	宇治市災害ボランティアセンターへの参画 ※京都府災害ボランティアセンターによる	総合福祉会館
適時	赤い羽根共同募金への協力	宇治市内等
5月~6月	京都文教大学ボランティア演習による学生受入れ	総合福祉会館
奇数月	情報紙「パートナー」発行	総合福祉会館
奇数月第2日曜日	ボランティアマッチングサロン ※3月はコロナウイルス感染拡大防止のため中止	総合福祉会館
6月15日(土)	宇治市障害者スポーツ大会への協力	西宇治体育館
6月21日(金) 28日(金)	「はじめよう!セカンドライフ」講座	生涯学習センター

6月24日(月)	団体・個人登録者会館清掃交流	総合福祉会館
9月20日(金)	視察研修:川西市社協ボランティアセンター テーマ型ボランティアと地域ボランティアとの連携策など	兵庫県川西市社協
10月17日(木)	宇治市健康長寿サポーター養成講座にて、受講者への活動紹介	宇治市福祉サービス公社中宇治
11月3日(日)	宇治福祉まつりへの出展(ボランティア相談・ステージ上でのウッチートークショー)	総合福祉会館一帯
11月8日(金)	宇治市地域の支え合い仕組みづくり会議への参画(何気ない地域の助け合いの意見交換)	宇治市生涯学習センター
11月23日(土)	第20回京都府障害者のつどいへの運営スタッフとして参加	宇治市文化センター大・小ホール
11月30日(土)	奈良市ボランティア連絡協議会の視察受入れによる交流研修	宇治市生涯学習センター
12月5日(木)	地域のお宝発表会フォーラムへ参加	宇治茶会館
12月15日(日)	運営委員研修「SNS 活用法について」	京都文教サテライトキャンパス
1月23日(木)	助け合い検討チーム視察 「長岡京市社協暮らしの応援隊」	長岡京市社会福祉協議会
1月25日(土)	宇治市社会福祉協議会 新春福祉のつどい参加	パルティール京都
2月22日(土)	宇治市健康長寿フェスティバルへの出展(パネル展示)	宇治市生涯学習センター
3月1日(日)	ボランティアフェスティバル&思いの駅伝 →コロナウイルス感染拡大予防のため中止	宇治市総合福祉会館
3月6日(金)	宇治市健康長寿サポーター養成講座実践編 →コロナウイルス感染拡大防止のため中止	宇治市福祉サービス公社中宇治
3月7日(土)	バリアフリー映画上映会 →コロナウイルス感染拡大防止のため延期。 延期日は令和2年7月11日(土)予定	宇治市生涯学習センター

補助
委託

赤い
羽根

4. 加入団体等と連携した宇治市災害ボランティアセンターの運営

災害時に、個人、地域、団体、組織等のつながりの力を活かせるよう、日ごろからの様々な「顔の見える関係づくり」に取り組んできました。

(1) 災害ボランティアセンターのPR

協働運営のセンターとして、運営委員とともに、宇治市防災訓練等に参加し、リーフレットの配布や宇治市歴史資料館より提供いただいた昭和28年災害時の写真や京都府南部地域豪雨災害の時の災害ボランティア活動パネルの掲示で、訓練参加者に宇治市災害ボランティアセンターをPRしました。また、

自主防災会の研修会に参加し、災害時のボランティア活動についての啓発を行いました。

(宇治市防災訓練への参加)

日時	令和元年 9月 8日(日)8:15~12:00
場所	小倉小学校 グラウンド
参加者	運営委員8名、事務局2名
内容	宇治市災害ボランティアセンター啓発ブースの展開 ・PRリーフレットの配布 ・京都府南部地域豪雨災害時の写真の展示 ・昭和28年災害時の写真の展示

(西小倉地域訓練への参加)

日時	令和元年12月1日(日)9:00~12:00
場所	北小倉小学校 グラウンド
参加者	運営委員5名、事務局2名
内容	宇治市災害ボランティアセンター啓発ブースの展開 ・PRリーフレットの配布 ・京都府南部地域豪雨災害時の写真の展示

(講師派遣)

依頼者	府営西大久保団地 自主防災会
内容	宇治市災害ボランティアセンターの取り組みについて
日時	令和元年6月19日(水)19:30~21:00
場所	第三集会所
参加者	事務局 1名
実施して	宇治市危機管理室の出前講座と合同で参加しました。災害ボランティアセンターの役割について知っていただく機会としました。 その後、地域づくりや要配慮者の支援を視点とした取組み相談があり、10月には佛教大学の後藤至功先生に講演いただくなどの調整を行っており、広がりがあります。

依頼者	ユニ宇治川マンション防災会 研修会
内容	宇治市災害ボランティアセンターの取り組みについて
日時	令和元年7月13日(土)10:00~12:00
場所	ユニ宇治川マンション管理事務所
参加者	運営委員 1名 事務局 1名
実施して	ユニ宇治川マンション防災会の総会の際の研修として参加しました。災害ボランティアセンターの役割について知っていただく機会としました。

(2) 加入団体とのつながりづくり、運営体制の強化

災害時に災害ボランティアセンターが機能するために、加入団体とのつながりづくりとして、総会時に講演会の開催を行いました。

定期的に運営委員会を開催し、センター運営について協議をしました。運営委員会の中に「訓練企画部会」と「情報部会」を設置し、訓練企画部会の中で、本年度の訓練実施に向けて協議を進めました。訓練は加入団体へも呼びかけ、令和2年2月1日に開催しました。情報部会では、メンバーを中心にSNSのやり取りを通じて、SNS等の活用を考えることを行ってきました。

また、平成22年に発行した「宇治市災害ボランティアセンター運用の手引き(ポイント)」を改訂しました。

(第12回総会)

日時	令和元年6月1日(土) 9:30~11:00
実施場所	宇治市総合福祉会館 大広間
参加者	57団体68名(うち委任状出席13団体)※正会員81団体中 来賓2名 事務局3名
実施内容	・平成30年度事業報告・決算報告 ・令和元年度事業計画・予算

(研修会「防災気象情報の見方～大切な人を災害から守るために～」)

日時	令和元年6月1日(土) 11:00~12:00
場所	宇治市総合福祉会館 大広間
参加者	加入団体:44団体68名 一般参加者:20名
内容	講師:一般社団法人 ADI 災害研究所 片平 敦氏 内容:防災気象情報の見方～大切な人を災害から守るために～
実施して	災害ボランティアセンターの加入団体の多くは、普段から市内において地域福祉活動を行う団体で構成されています。そのため、普段から一人暮らし高齢者や介護者の家族、障がいのある方と接する機会が多くあります。今回の研修では、正しい防災気象情報の見方を学び、それを地域において情報共有してもらうことを目的に実施しました。 普段、何気なく見ている気象情報を詳しく知り、それを災害時にも生かせる知識として普段から関わりのある方たちと情報共有をしていただく重要性を確認してもらう機会となりました。

(運営委員会の開催)

回	日時(時間は19時~21時)	場 所	主な議題内容
1	令和元年 5月17日(金)	宇治市 総合福祉会館	第12回総会/京都府災害ボランティアセンター委員推薦/運営委員の変更/自主防災研修
2	令和元年 6月26日(水)		マニュアル改訂/事業計画の内容
3	令和元年 8月30日(金)		マニュアル改訂/宇治市災害ボラセン災害時運用訓練/情報部会/西小倉地区防災訓練
4	令和元年11月27日(水)		マニュアル改訂/宇治市災害ボラセン災害時運用訓練
5	令和元年1月23日(木)		宇治市災害ボラセン災害時運用訓練
6	令和元年3月10日(火)		コロナウイルス感染症拡大防止で延期 ⇒4月2日に開催

(災害ボランティアセンター 運用訓練)

日 時	令和2年2月1日(土)9:30~12:30
場 所	宇治市総合福祉会館 大広間
参加者	加入団体・運営委員;44 団体 74 名 当会職員 7 名、京都府社会福祉協議会 1 名
内 容	災害時における災害ボランティアセンターの役割の講義と訓練 講義 宇治市災害ボランティアセンター副代表 山本博之 各班に分かれての運営訓練
実施して	災害ボランティアセンターの各班の役割について理解が深まったほか、特に中途失聴・難聴者協会の参加を得て、当事者が災害時に困るだろうことを確認したほか、当事者団体としてできることを考える機会になりました。当事者団体は、支援を受ける側ではなく、災害時の災害ボランティアセンターの活動を支える役割があることが再確認できました。

(3) 京都府災害ボランティアセンターへの協力

京都府災害ボランティアセンターの運営委員として、令和元年度、令和2年度の2年間、宇治市災害ボランティアセンターから、運営委員1名が参加しています。

京都府災害ボランティアセンターが関わる研修やイベントへ、下記の通り参加し、他災害ボランティアセンターとの交流や運営委員のスキルアップの機会としました。

(研修・イベント等への参加)

日 時	①令和元年 6月 8日(土) 13:30~16:20 ②令和元年 8月29日(木) 13:30~16:30 ③令和元年 9月 1日(日) 9:20~12:00 ④令和元年 9月18日(水) 10:30~16:00 ⑤令和2年 1月24日(金) 13:30~16:30
場 所	①京都府立京都学・歴彩館②ハートピア京都、③長岡京市立長岡第九小学校 ④京都テルサ、⑤ハートピア京都
内 容	①京都府災害ボランティアセンター総会 ②初動支援チーム新規登録者向け初級編研修 ③京都府総合防災訓練 災害ボランティアセンター設置運用訓練 ④初動支援チームフォローアップ講座 ⑤トップセミナー
参加者	①運営委員1名 ②運営委員1名 ③運営委員3名 事務局1名 ④運営委員1名 ⑤運営委員1名
参加して	運営委員の参加を積極的に呼びかけましたが、行事等の重なりも参加人数が少なかったのが課題です。京都府総合防災訓練では、訓練の組み立て方など参考になることも多くありました。

5. 当事者団体の支援と協力を通じての当事者の地域生活の支援

宇治 補助
社協 委託

当事者団体の相談や支援を行ってきました。当事者の声、意見を聴き、課題解決のために活動をしている団体へ、宇治市共同募金委員会で実施する「赤い羽根コラボ助成(3章 5掲載)」と連携協働して支援しています。また、宇治市からの補助による「宇治市福祉未来基金地域共生社会推進事業(新規)(3章 6掲載)」や当事者の声を活かした介護者リフレッシュ事業を始めとする取組みを実施しました。

在宅高齢者介護者リフレッシュ事業は、平成 30 年度と同様に、市内の要介護認定2以上の高齢者を在宅で介護されている人たちのリフレッシュと、介護者同士の相互交流を目的に年6回開催しました。

交流企画年2回・レクリエーション企画年4回を実施し、参加対象者は、それぞれの企画で各1回までの参加wp可能としています。交流企画には、要介護者の参加もいただけるように実施しました。

全企画において、宇治市介護者(家族)の会の参画のもと、交流会でのグループでの司会進行はじめ様々な協力をいただいています。

今年度も、お知らせは、市政だより・社協だよりへの掲載、チラシでの案内、また、公共施設での配架などの方法を取っています。福祉サービス関係者を通じての介護者への情報発信を重点化したことと過去の参加者にも繰り返しダイレクトメールで案内をしましたが、参加者の伸びはあまり見られませんでした。



(第1回交流会 ミニライブ「Michiyo&オイワ」を楽しむ参加者)

(宇治市在宅高齢者介護者リフレッシュ事業)

企画種別	回数	開催日	内容	定員	参加者数
交流企画	第1回	令和元年 9月10日(火)	京都認知症総合センター内地域交流センターにてアコースティックギターデュオ「Michiyo&オイワ」のミニライブと参加者交流会開催	35	6
	第2回	令和元年 12月20日(金)	京都認知症総合センター内地域交流センターにてミュージックアンサンブル「アップルパイ」のミニライブと参加者交流会開催	35	6
レクリエーション企画	第1回	令和元年 6月11日(火)	「バスで京都水族館へ」と車中交流	35	12
	第2回	令和元年 7月10日(水)	「バスでよしもと祇園花月へ大いに笑ってリフレッシュ」と車中交流会	35	13
	第3回	令和元年 10月11日(金)		35	10
	第4回	令和元年 11月30日(土)	宇治市中央公民館会議室でミニ茶話会と宇治市文化センターにて落語会「桂米朝一門会」鑑賞	35	9
				210	56

6. 生活支援体制整備事業を通じての地域福祉に関わる人の話し合いの場と協働による地域福祉の推進

補助
委託

平成29年度より宇治市から、宇治市生活支援体制整備事業を受託しています。地域における高齢者の生活支援体制の整備を推進するため、生活支援コーディネーター業務ならびに協議体の設置をすすめています。第1層協議体戦略会議、生活支援体制整備事業事務局会議において、宇治市、宇治市福祉サービス公社（以下、公社）と共に情報共有と協議を行いながらすすめています。

令和元年度の第1層生活支援コーディネーターとして公社2名、当会3名、第2層生活支援コーディネーターに当会2名を設置しています。第2層協議体の生活支援コーディネーターは昨年度と同様7月よりプロポーザルにより受託しました。なお、生活支援コーディネーターは、他事業と兼任で行っています。

12月5日（木）にフォーラム2019「地域のお宝発表会」を開催しました。お互いに気かけ合う「地域のお宝」が地域の助け合いにつながることへの気づきから第2層協議体への展開につなげていきました。また、フォーラム後、当会の地域担当者と生活支援コーディネーターの連携を行うため、定期的に情報共有を行っています。具体的な取り組みとして、フォーラム 2019 で得た情報をもとに、実際に「地域のお宝」のお話を伺いに出向いています。

2月22日（土）には、生涯学習センターにおいて「第4回健康長寿フェス2020」が開催されましたが「地域の支え合い活動の紹介」の中で生活支援コーディネーターがコメンテーターとして参加し、運営支援に関する業務も行いました。

また、地域で、「お互いに気かけ合う、助け合い、支え合い」を広げるための資料を作成しました。来年度は、これを使用し地域につながるの大切さをひろげていきたいと考えています。

（事務局会議）

実施日	①令和元年5月10日（金）9:30～11:15 ②令和元年6月13日（木）9:30～11:15 ③令和2年2月7日（金）9:30～11:30
場所	宇治市総合福祉会館
参加者	生活支援コーディネーター；5名（公社2名、当会3名） 宇治市；3名 公社；1名 当会；1名
目的	生活支援コーディネーター委託業務及び協議体運営にかかわる事項の協議
実施して	年度当初に生活支援コーディネーターが目指すゴールを確認しました。生活支援コーディネーターより各事業の実施報告、情報共有を行いました。公社の生活支援コーディネーターからは、健康長寿サポーター養成講座、住民主体 B の通いの場などについての報告がありました。当会の生活支援コーディネーターからは、地域活動やサロンへの訪問を行い、活動を通して見える地域の状況の報告をしました。

(戦略会議)

実施日	①令和元年 7月 5日(金)9:30~11:30 ②令和元年 8月 6日(火)9:30~11:30 ③令和元年 9月 5日(木)9:30~11:30 ④令和元年 10月 10日(木)9:30~11:30 ⑤令和元年 12月 20日(金)9:30~11:15
場所	①~④宇治市総合福祉会館 ⑤宇治市福祉サービス公社中宇治事業所
参加者	生活支援コーディネーター;5名(公社2名、当会3名) 宇治市;3名 公社;1名 当会;1名
目的	「宇治市地域の支え合い仕組みづくり会議」(第1層協議体)を進める上での連携・情報共有と協議
実施して	今年度は「フォーラム2019地域のお宝発表会」開催を目指し進捗を共有しながら内容も三者で協議を行いました。公社の生活支援コーディネーターが進める、健康長寿サポーター養成講座についても情報共有を行いました。

(宇治市地域の支え合い仕組みづくり会議(第1層協議体)1回目)

実施日	令和元年 7月30日(火)14:00~16:00
場 所	宇治市総合福祉会館 3階 大広間
参加者	健康生きがい課;4名 文化自治振興課;1名 構成員;20名 生活支援コーディネーター;5名 公社;1名 当会;1名
目 的	多様な関係主体間の定期的な情報共有及び連携・協働による取組を推進する場とし、市全域における支え合いの仕組みづくりについて検討します。
内 容	平成 30 年度度の「宇治市地域の支え合い仕組みづくり会議」(第1層協議体)「宇治市地域の支え合い仕組みづくり会議(地域版)」(第2層協議体)榎島地域・岡屋地域の振り返りを行い、フォーラム2019「地域のお宝発表会」の開催を目指し実施しました。 実施目的は各種団体や関係機関が実践している“仕組みによる支え合い活動”と日常の中に根付いている“何気ないつながり”が目の細かい網状(ネットワーク)となって支え合いの気持ちを地域で育てていく『つながる意識の大切さ』を市民に発信していくために、日々のつながりから読み取れる意義や効果についてメンバー同士の共有を図るためです。 内容は、ワールドカフェ形式で共有しました。テーマは「地域のお宝(日常の何気ないつながり)について考えてみよう」でした。地域のつながりを、仕組みのもの、仕組みでないものにかけて考えました。
実施して	支え合いには、仕組みのもの、仕組みでないものの双方が必要で、何気ない支え合いや助け合いには大切な意義や効果があることがわかりました。また、この会議で出された「地域のお宝」が「地域のお宝発表会」へとつながりました。

(宇治市地域の支え合い仕組みづくり会議(第1層協議体)2回目)

実施日	令和元年11月8日(金)14:00~16:00
場 所	宇治市生涯学習センター 1階第2ホール
参加者	健康生きがい課;5名 地域福祉課;1名 文化自治振興課;1名 構成員;14名 生活支援コーディネーター;5名 公社;1名 当会;1名と実習生1名
目 的	多様な関係主体間の定期的な情報共有及び連携・協働による取組を推進する場とし、市全域における支え合いの仕組みづくりについて検討します。
内 容	今回の会議では、実際に地域で日常に根付いている“何気ないつながり”3つの取り組みを紹介しました。“仕組みによる支え合い活動”も必要ですが、これからの高齢化社会においては、人と人のつながりが地域に必要になってきます。サロンやラジオ体操、野菜づくりといった「場」も大切ですが、「場」を通じて人とつながり、お互いに気にかけて合う存在になっていくことが大切です。お互いに気にかけて合うことが、支え合い、助け合いにつながっていきます。そんなささやかな支え合い、助け合いが広がっていくようにメンバー同士で取り組みを共有し、新たな地域でのつながりについて意見交換を行いました。
実施して	健康麻雀、グランドゴルフ、犬の散歩時に、何気ない見守りをしていたり、ご近所どうしてお茶をしていたり、たくさんの方の集まる「場」を知っておられました。このような人の集まる「場」を通して、人のつながりができ、「場」を離れてもお互いに気にかけて合う関係性が助け合い、支え合いにつながり、大切だということがわかりました。

(宇治市地域の支え合い仕組みづくり会議(第1層協議体)3回目)

実施日	令和2年3月13日(金)10:00~12:00
場 所	宇治市生涯学習センター 1階第2ホール
新型コロナウイルス感染拡大防止の為に中止になりました	

(ひとりひとりがお互いに気にかけて 支え、支えられるまちづくり フォーラム2019
「地域のお宝発表会」)

実施日	令和元年12月5日(木)13:30~16:00
場 所	宇治茶会館 3階 大ホール
参加者	124名(申込者94名 当日受付者30名)
目 的	地域の中には、私達が知らない、気にかけて活動や無意識につながりを感じられる地域の「お宝」がたくさんあります。また、つながりをつくることを考えてくれている人たちがいます。そんな活動や人が、地域の助け合いにつながることへの気づきを共有することを目的に、フォーラムを開催しました。
内 容	講演 『つながりを基盤にした地域づくり、まちづくり』 講師 ご近所福祉クリエイター 酒井 保 氏 地域のなにげない支え合い(お宝)実践発表会 コーディネーター 酒井 保 氏 伊勢田喜老会ワイガヤサロン(伊勢田地域) 神野医院前敷地内ラジオ体操(木幡地域)
実施して	なにげない支え合い、助け合いの地域づくり、まちづくりの大切さを学びあいました。「支えるより支えられる難しさ」「支えられ上手に」。「支えられる」について多くの人が印象に残ったということでした。ちょっとした困りごとがあっても「助けて」と言える人が3%。「助けて」と言えるように、日常の中で、日頃のつながりが大事なのだということがわかりました。



(フォーラム2019「地域のお宝発表会」の様子)

(宇治市地域の支え合い仕組みづくり会議(地域版) 槇島地域 (第2層協議体))

「槇島学区“つながる・集う”を感じる」地域交流会 1回目

実施日	令和元年10月9日(水) 10:00~12:00
場 所	槇島地域福祉センター
参加者	槇島地域の皆さん;15名 北宇治地域包括支援センター;1名 宇治市;3名 社協;1名 生活支援コーディネーター;3名
目 的	槇島地域で「槇島さろん連絡会」を中心に、つながりや支え合いの地域づくりについて共に考える機会とする。そして、サロンを通して、地域の困りごとを話し合える土壌づくりを行う。
内 容	テーマ「ひとり暮らしになったとき・・・」 ○自分はどういう状況になりそうですか。 ○どんな困りごとがありそうですか。 ○そういうのを見たら、あなたならどうしますか?どう声をかけますか? 4つのグループに分かれ、それぞれのグループ内で意見交流後、各グループの中で、一番気になったことを挙げてもらいました。
実施して	①いざという時に寄り添ってくれる人が居ないと困る。 ②キャッシュレスになり、支払いが難しくなる。システムが難しくついていけない。 ③話し相手がないこと。 ④移動手段 4つの気になる事があがりました。いずれもどこのグループでも出ていた意見だということでした。2回目では、これらのことについて掘り下げて考えてみることになりました。

(宇治市地域の支え合い仕組みづくり会議(地域版) 槇島地域 (第2層協議体))

「槇島学区“つながる・集う”を感じる」地域交流会 2回目

実施日	令和元年12月11日(水) 10:00~12:00
場 所	槇島地域福祉センター
参加者	槇島地域の皆さん;21名 北宇治地域包括支援センター;1名 宇治市;3名 社協;1名 生活支援コーディネーター;3名
目 的	槇島地域で「槇島さろん連絡会」を中心に、つながりや支え合いの地域づくりについて共に考える機会とする。そして、サロンを通して、地域の困りごとを話し合える土壌づくりを行う。
内 容	前回出た話題を、掘り下げて、みんなで話し合ってみよう! ①いざという時に寄り添ってくれる人が居ないと困る。 ③話し相手がないこと。 4つの気になる事のうち、ソフト面の2つについて、掘り下げて意見交流を行いました。
実施して	各グループで、日頃、地域で実際起っていることや正直な思いを、皆さんで話しているうちに気付いたことなどがたくさんありました。その中で共通して出ていたことは「なんでもしゃべれる場」があるといいねということでした。次回は「なんでもしゃべれる場」について地域の皆さんと学んでいきます。

(宇治市地域の支え合い仕組みづくり会議(地域版) 榎島地域(第2層協議体))

「榎島学区“つながる・集う”を感じる」地域交流会 3回目

実施日	東地域 令和2年2月27日(木)10時~12時 西地域 令和2年3月 3日(火)10時~12時
場 所	東地域 榎島集会所 西地域 紫ヶ丘集会所
新型コロナウイルス感染拡大防止の為延期になりました	

(北畠懇談会(仮称))全体会ミーティング

東宇治北地域包括支援センターの小地域包括ケア会議であがった「地域課題」について地域包括支援センターより、仕組みづくりを考えたいということで相談があり、地域住民と共に、生活支援コーディネーター、地域包括支援センターが連携しながら話し合いを重ねました。今後は、広く地域に呼びかけ、勉強会をすすめながら、一緒に話し合う仲間づくりを目標にしていきます。北畠地域において、日頃のつながりの大切さを感じておられ、地域住民の手で自主的にお互いに気かけ合う取組みがいくつか計画されています。

令和元年8月5日(月)16時~	宇治市総合福祉会館	地域包括より相談
令和元年9月24日(火)14時~15時	ハーモニーこはた 1階	専門職ミーティング
令和元年10月10日(木)14時~15時	東風館 和室	第1回目
令和元年11月22日(金)14時~15時	中木幡集会所	第2回目
令和元年12月23日(月)10時~12時	中木幡集会所	第3回目
令和2年2月10日(月)14時~15時30分	北畠集会所	第4回目
令和2年3月16日(月)14時~	北畠集会所	「認知症についての勉強会」の予定でしたが、 <u>新型コロナウイルス感染拡大防止の為中止となりました。</u>
令和2年3月16日(月)14時~	宇治市総合福祉会館	勉強会が中止になった為、専門職で今後についてのミーティングを行いました。

(小地域包括ケア会議 参加)

東宇治北	令和元年 6月 26日(水) 14:00~16:00 コミュニティワークこはた館 令和元年 8月 21日(水) 14:00~16:00 コミュニティワークこはた館 令和元年 12月 18日(水) 14:00~16:00 コミュニティワークこはた館
東宇治南	令和元年 9月 26日(木) 14:00~16:00 東宇治地域福祉センター 令和元年 11月 18日(月) 13:30~16:00 東宇治地域福祉センター 令和2年 1月 20日(月) 14:00~16:00 東宇治地域福祉センター
中宇治	令和元年 9月 5日(木) 14:00~16:30 福祉サービス公社中宇治事業所
北宇治	令和元年 7月 26日(金) 13:30~15:45 開地域福祉センター 令和元年 10月 18日(月) 13:30~15:30 グリーンタウン槇島中央集会所 令和元年 12月 4日(水) 13:30~15:30 小倉明星園介護者教室
西宇治	令和元年 7月 26日(金) 10:00~11:30 西小倉地域福祉センター 令和元年 9月 27日(金) 10:00~11:30 西小倉地域福祉センター 令和元年 10月 25日(金) 10:00~11:30 西小倉地域福祉センター
南宇治	令和元年 10月 31日(木) 14:00~16:00 平盛デイサービスセンター

各圏域の小地域包括ケア会議に出席し、関係者間のネットワークの構築を行い、地域の活動、担い手、地域課題の把握に努め、地域のニーズに合わせて大会が実施している事業の紹介等を行いました。また、地域課題に対し住民、地域包括支援センターと共に定期的に話し合いを続けている圏域もあります。

7. 一般介護予防事業介護予防普及啓発事業の実施による住民参加型の介護予防の実施

補助
委託

一般介護予防事業介護予防普及啓発事業(地域参加型Bタイプリハビリ教室)を地域住民とともに運営し、介護予防事業を通じて社会参加の機会の創出を行ってきました。令和元年度は、2月27日(木)から3月31日(火)まで、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったため、回数延べ人数等に大きな変化が出ています。3月15日号の社協だよりにて、広報を行い参加希望の問い合わせをいただいておりますが、活動が再開できず、新規訪問面接等も実施できないままになっております。

また、ボランティア講座等を通じて、新たなボランティア活動者の発掘に努めました。

(介護予防普及啓発事業【地域参加型B型リハビリ】開催状況)

教室名	小学校区	実施回数 (回)	利用者 実人数(名)	利用者のべ 人数(名)	ボランティア のべ人数(名)
ほっこりくらぶ	神明	33	10	242	600
さわやかくらぶ	御蔵山	42	8	226	237
すこやか広野	大久保	33	9	214	381
ニコニコ菟道	菟道	39	10	343	564
あったか平盛	平盛	38	13	341	394
のんびりくらぶ	西大久保	34	12	244	430
みむろど健康教室	三室戸	39	14	440	495
なごみ岡屋	岡屋	37	8	224	270
ホット大開	大開	40	9	184	342
元気おうぱく	宇治	41	7	129	516
きらきら菟ニクラブ	菟道第二	36	11	250	634
ハスの実くらぶ	小倉	39	6	150	705
お茶の実クラブ	木幡	34	12	155	486
しらさぎクラブ	南小倉	30	8	197	347
ふれあい北楨	北楨島	43	12	443	472
楨島あすなろ会	楨島	36	15	449	344
ぬくもり伊勢田	伊勢田	36	7	209	510
南部てんとう虫教室	南部	39	12	375	458
スマイル西小倉	西小倉	36	13	317	324
フラワー北小倉	北小倉	39	6	127	265
合計		744	202	5,259	8,774

(宇治市内の介護予防普及啓発事業【地域参加型B型リハビリ教室】ののべ人数の推移)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
実施回数(回)	837	817	742
利用者のべ人数(名)	6,334	6,271	5,259
ボランティアのべ人数(名)	10,149	9,935	8,774

(ボランティア研修会 開催状況)

実施日	① 令和元年 7月31日(水) 10:00~11:30 ② 令和元年 9月30日(月) 10:00~11:30 ③ 令和元年 11月13日(水) 10:00~11:30 ④ 令和元年 11月27日(水) 14:00~15:30
実施場所	①、②、③、④宇治市産業会館 多目的ホール
実施目的	地域での介護予防に資する自発的な活動の普及啓発と住民の活動の育成
参加者	① 57名 ②53名 ③ 35名 ④ 53名
内容	① 地域でイキイキ活動を~みんなて学ぶヨガ~ ② 今だから、ボランティア ③ 介護予防につながる「みんなの体操」と「ラジオ体操第2」 ④ サロンのボランティアから学ぼう~ボランティア研修会~※兼サロン研修会
実施して	参加者は、実技も講義についても熱心に受講されています。介護予防のボランティア活動を実践していく中で、より向上したいという思いに応えることができる内容であったと考えます。 また、ボランティア活動に参加されていない方々にも介護予防の大切さと地域での取り組みを知っていただける機会となりました。



(ボランティア研修会の様子)

8. 実行委員会形式による宇治福祉まつりの実施



参加団体や個人ボランティアの参加による実行委員会を結成し、福祉活動への興味関心を持ってもらうことができるイベントの開催を行いました。市民や福祉関係者が一堂に集い、地域の福祉活動を盛り上げたり、相互のつながりを生み出したりすることを目的に、宇治福祉まつりを11月3日(日)に宇治市総合福祉会館一帯で開催しました。

令和元年度は、従来通り、菟道第二小学校のグラウンドを駐車場として使用させて頂けることになったので、事前説明会は行わず、参加団体説明会を1回開催することで進めました。

(実行委員会)

日時	①令和元年 7月 3日(水)19:00~21:00 ②令和元年 9月 4日(水)19:00~21:00 ③令和元年10月10日(木)19:00~21:00 ④令和元年10月30日(水)19:00~21:00 ⑤令和2年 1月15日(水)19:00~21:00
場所	宇治市総合福祉会館
参加者	宇治福祉まつり実行委員9名、事務局4名
内容	宇治福祉まつりの企画立案の検討、運営面の協議・確認等

(参加団体説明会)

日時	令和元年9月25日(水)10:00~12:00
場所	宇治市産業会館 多目的ホール
参加者	77 団体
内容	企画や運営内容の連絡、共有、協議、会場配置について/エコ系の分担協議

(2019宇治福祉まつり当日)

日時	令和元年11月3日(日)8:45~17:00
場所	宇治市総合福祉会館一帯
参加者	参加者:6,000人以上(参加団体94団体、運営協力のみの団体13団体、個人ボランティア(前日準備・当日)5名含む)
内容	宇治中吹奏楽部の演奏 各団体による30秒PR:21団体 オープニング(開会宣言・来賓あいさつ) ステージ発表:13団体/福祉の店:37団体/展示:26団体 体験・相談:22団体/子ども広場:6団体/スタンプラリー:8団体
実施して	終了間際に降雨があった以外は、天候にも恵まれたたくさんの来場で賑わいが見られました。福祉の店のテントについては、宇治市民間保育園連盟、社会福祉法人山城福祉会にご協力を頂き、福祉施設、団体の力を集結し、開催できました。そのやりとりのなかで、団体と施設間でも顔が見える関係を築いていききっかけにもなっています。



(宇治福祉まつりのステージの様子)

9. 京都文教大学との連携による大学生をはじめとする若年層への福祉教育



大学生を含む若い世代や「未認識者層」や「未参加者層」に福祉活動やボランティア活動への参加のきっかけを創り、なぜ福祉活動やボランティア活動が社会で求められているのかを伝えています。

(1) 京都文教大学ボランティア演習を通しての大学生へのボランティアへの働きかけ

京都文教大学の科目である「地域ボランティア演習」に関して業務提携を行い、学生のボランティア活動促進に努めています。この「地域ボランティア演習」では、学校支援コース、自己開拓コース、社会福祉コースがあり、本会は社会福祉コースを担っています。

春学期は、12名、秋学期は3名でしたが、春、秋共に全員単位認定されました。

成果として、演習終了後も引き続きボランティアに参加したり、今後の進路の選択の中に、福祉分野で働くことを意識する生徒もいるなど、社会施設や活動団体に関わる人材が増えるきっかけづくりとなっています。また、受入れ側からも、ぜひ今後も学生の受け入れをしたいという声をいただきました。

(京都文教大学ボランティア演習の演習実施状況)

春学期(4月10日～7月24日)		秋学期(9月25日～1月15日)	
団体・施設名	人数	団体・施設名	人数
特定非営利活動法人就労ネットうじみっくすはあつ	3	特定非営利活動法人就労ネットうじみっくすはあつ	1
宇治市障害児・者父母の会	2	宇治市障害児・者父母の会	1
宇治川福祉の園	2	宇治川福祉の園	1
宇治市社会福祉協議会 (中学生への学習支援)	2	宇治市社会福祉協議会 (Bリハ・中学生への学習支援)	0
宇治ボランティア活動センター	2	宇治ボランティア活動センター	0
宇治東福祉会	1	宇治東福祉会	0
		要約筆記サークル エコー	0
合計	12	合計	3

(2) 中学生と赤ちゃんの交流事業への協力

乳児から2歳頃までの赤ちゃんとお母さんが「赤ちゃんボランティア」として中学校を訪れ、中学3年生と交流をはかる事業です。当会はボランティア募集、連絡調整、当日のサポート、実施後のフォローを行いました。平成30年度より、チラシの作成や印刷は中学校にお願いするなど、多くの学校からの開催希望があっても対応できるように役割分担を行い取り組んでいます。中学生が実際に赤ちゃんを抱き、命の重みや温かさを肌で感じ、子育て中の親の思いを聞く中で、自分自身も大切に育てられたことや命の尊さを学びました。参加した保護者にとっても、「ボランティア」を身近に感じてもらうきっかけとなっています。「赤ちゃんボランティア」の申込み方法を、インターネット上で申込みフォームを作成して申し込める方法を新たに取り入れ、時代に合わせた募集方法を取り入れています。南宇治中学校も3月に開催予定で進めており

ましたが、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止となりました。

東宇治中学校では、赤ちゃんとして参加をした生徒が授業を受け、生徒として授業を受けていた中学生が母親として赤ちゃんを連れて参加をされ、赤ちゃんの保護者が PTA で参加をされるという循環もあり、長年の事業の効果を実感しています。

(宇治中学校)

実施日	令和元年6月14日(金)、17日(月)
実施場所	宇治中学校
対象	宇治中学校3年生(5クラス)
協力者	NPO 法人子育てを楽しむ会 琵琶・神明・宇治地区民生児童委員協議会
赤ちゃんボランティア数	のべ89組(実数55組)

(東宇治中学校)

実施日	令和元年7月1日(月)、2日(火)、3日(水)
実施場所	東宇治中学校
対象	東宇治中学校3年生(6クラス)
協力者	NPO 法人子育てを楽しむ会 岡屋・菟道地区民生児童委員協議会
赤ちゃんボランティア数	のべ101組(実数50組)

(黄檗中学校)

実施日	令和元年10月2日(水)、3日(木)
実施場所	黄檗中学校
対象	黄檗中学校3年生(4クラス)
協力者	NPO 法人子育てを楽しむ会 木幡・東宇治地区民生児童委員協議会
赤ちゃんボランティア数	のべ73組(実数45組)

(槇島中学校)

実施日	令和2年2月19日(水)、20日(木)
実施場所	槇島中学校
対象	槇島中学校3年生(3クラス)
協力者	NPO 法人子育てを楽しむ会 NPO 法人まきしま絆の会 槇島地区民生児童委員協議会
赤ちゃんボランティア数	のべ50組(実数31組)

10. 新春福祉のつどいによる住民福祉活動への参加の機運の向上

地域福祉活動に長年ご尽力いただいた個人や団体に対して、市内の福祉関係者が一堂に集い、その功績を称える場として令和2年1月25日（日）に令和2年新春福祉のつどいを開催しました。

第2部の講演会では前年度に引き続き、地域共生をテーマに行い、第3部では初の試みとして、立食形式による懇親会を実施しました。



（新春福祉のつどい 講演会後の靴磨きの様子）

（新春福祉のつどい）

実施日	令和2年1月25日（土）10:00～13:00
実施場所	パルティール京都
参加者	会長表彰・感謝状贈呈者 表彰状受賞者75名、感謝状贈呈者 団体1名 参加者 292名（来賓38名、受賞者48名、一般206名）
目的	年の初めにあたり、福祉関係者が一同に会し懇親を深めるとともに、地域福祉推進への決意を新たにするため開催しました。
内容	第1部：福祉功労者表彰・感謝状贈呈式典 第2部：講演「カフェから始まった挑戦～失敗と葛藤の先を目指して～」 株式会社革靴をはいた猫 魚見航大氏 宮崎雅大氏 藤井琢裕氏 丸山恭平氏 後藤大輔氏 第3部：懇親会 立食形式（福祉活動のパネル展示）
実施して	日頃活動しておられる皆さんや当会への寄付者、自動販売機の設置協力者への感謝を表すことと、交流を大切にしています。 第2部の講演会では、地域共生社会について、支援者、支援を受ける者という区別化した視点ではなく、互いに尊重し合える関係性を築いておられることに多くの学びがありました。誰もが持つ暮らしへのあこがれや意欲に寄り添う姿勢にこそ、地域共生社会の実現に向けた視点が含まれています。

11. 福祉専門職や福祉事業に関わる人たち、社会福祉法人等との連携強化



福祉専門職や福祉事業にかかわる人たち、社会福祉法人等との連携を強化するとともに、宇治市福祉サービス公社と取組んできたプロジェクトを発展させ、他事業所を巻き込んだ取組みを行うこととしました。そこで、令和元年度は、合同勉強会にて、福祉人材の確保等を目指した取組みをテーマに設定、3月31日に予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。

12. 他機関との連携による子育て世代への働きかけと地域福祉活動へのきっかけづくり



NPO 法人との連携による子育て中の親子の出会いの場、相談の場づくりとして、1歳になるまでの子どもを持つ親を対象とした、赤ちゃんサロン・広場・パークを開催しました。参加者の気持ちをほぐすプログラムの後、交流を促すフリートークの時間を設けるほか、小グループでのおしゃべりタイムを設け、参加者が自然と交流しやすくなるような工夫をしています。終了後には、連絡先の交換をしている様子がよく見られました。アンケートからも、月齢の近い親同士の話や気分転換の場として大変良かったという意見が半数以上ありました。また、子育て世代が身近に情報をキャッチできるよう、SNSでの情報発信に取り組みました。11月、1月の赤ちゃんサロンと、12月のおしゃべりキャッチボールでは同志社女子大学看護学部看護学科の学生を実習生として迎えて、地域での子育て支援のあり方や、実際の親子のふれあいの様子、親の喜びや悩みに触れる機会を提供しました。3月のおしゃべりキャッチボールも参加予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大予防のため中止となりました。

(1) 「赤ちゃんサロン・広場・パーク」の実施（「NPO 法人子育てを楽しむ会」と共催）

NPO 法人との連携による子育て中の親子の出会いの場、相談の場づくりとして、1歳になるまでの子どもを持つ親を対象とした、赤ちゃんサロン・広場・パークを開催しました。

参加者の気持ちをほぐすプログラムの後、交流を促すフリートークの時間を設けるほか、小グループでのおしゃべりタイムを設け、参加者が自然と交流しやすくなるような工夫をしています。終了後には、連絡先の交換をしている様子がよく見られます。

(赤ちゃんサロン・広場・パーク開催実績)

名称	赤ちゃんサロン	赤ちゃん広場	赤ちゃんパーク
対象 (市内在住に限る)	妊婦および1ヶ月から4ヶ月の赤ちゃんとお親	5ヶ月から8ヶ月の赤ちゃんとお親	9ヶ月から12ヶ月の赤ちゃんとお親
実施日時	原則 毎月第4木曜日	原則 毎月第1金曜日	原則 毎月第3金曜日
	10:00~12:00		
実施場所／参加費	宇治市総合福祉会館／参加費 200 円		
実施回数	9回	9回	9回
参加状況 (スタッフ数:保育 サポーターは含まず)	70組 (21名)	104組 (26名)	95組 (24名)

※4月と8月は開催なし。3月は新型コロナウイルスの感染症拡大予防のため中止

(赤ちゃんサロン・広場・パーク参加者の推移)**(単位:組)**

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
赤ちゃんサロン	120	89	70
赤ちゃん広場	158	165	104
赤ちゃんパーク	100	168	95
合計	378	422	269

※3月は新型コロナウイルスの感染症拡大予防のため中止

(2)「おしゃべりキャッチボール」の実施(「NPO 法人子育てを楽しむ会」へ委託)

子育て中の親の悩みに基づいた当事者同士の出会いの場、相談の場づくりとしてのおしゃべりキャッチボールの展開を行っています。

令和元年度より、宇治市に転入して1年未満の子育て中の親を対象にしたテーマでの集まりを中止しました。平成30年度のニーズを受け、発達が少し遅いかなと不安を感じる子育て中の親を対象に開催しています。それ以外にも、アレルギーのある子どもを持つ母親、多胎児を育てる母親を対象に、宇治市内の当事者グループや助産師などの協力を得て実施しました。当事者同士の交流を行うことで、情報の交換や悩みの共感などができ、参加者のリフレッシュの時間となりました。当会としても、活動されている当事者や悩みを持つ方の声が聴ける貴重な機会となっています。多くの参加者が、同様の悩みを抱える者同士共感しあい、今後の情報交換などのためにLINEでつながるなどの新たなネットワークを築いておられます。

(おしゃべりキャッチボール開催状況)

テーマ	発達が少し遅いかな?と不安を感じる子育て中の保護者	アレルギーの子どもをもつ保護者	多胎児の保護者
対象	市民全般		
実施日 10:00~11:30	① 6月13日(木) ②10月10日(木)	① 7月4日(木) ②11月7日(木) ③ 2月13日(木)	① 5月16日(木) ② 9月19日(木) ③12月5日(木)
実施場所・参加費	宇治市総合福祉会館/無料		
親子数(参加者数)	①2組(4名) ②5組(10名)	①2組(4名) ②1組(2名) ③1組(2名)	①5組(13名) (妊婦2組含む) ②7組(22名) ③5組(16名)

(3) 子育てサークルなどへの情報提供および広報

子育てサークル見学希望者との連絡調整及び相談に対応しました。現在、子育てサークルの調整は、宇治市子育て支援機関センターが窓口となっているため、当会に連絡があった際には、子育て支援基幹センターへとつないでいます。サロンとして活動をする団体への調整は、当会において実施しました。

宇治市総合福祉会館に常設している子育て情報コーナーで市民向けの各種情報を提供しました。会館内に配架しているだけでなく、SNSでの情報発信や、子育て情報誌の内容をgoogleカレンダーで表示できるように努めましたが、改善を含め方法を検討していく必要があります。

13. 老人福祉センターサークル協議会の運営

老人福祉センターサークル協議会（USK）サークルの事務局として、高齢者の生きがいづくりと社会参加の機会の提供を行っています。

（老人福祉センターサークル数の推移）

年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
サークル数	20	22	20
登録者数	400	420	392

（シルバーウエルネス舞台発表大会・展示発表大会開催の支援）

実施日	①舞台発表大会：令和元年 9 月 18 日（水）10:30～16:00 ②展示発表大会：令和元年 9 月 28 日（土）13:00～16:00 令和元年 9 月 29 日（日）9:30～15:00
場 所	①宇治市文化センター小ホール ②宇治市総合福祉会館
目 的	サークル発表及び作品の展示と交流
内 容	①合唱・太極拳・カラオケ・民謡・謡曲・詩吟・三味線・大正琴・社交ダンス・ハーモニカ （11サークル 195名参加） ②華道・書道・茶道・陶芸・ちぎり絵・編み物（6サークル 52名参加）

（館外研修の支援）

毎年、老人福祉施設を訪問し、USK 活動の参考にしています。令和元年度は、12月14日（土）「奈良市南福祉センター」へ31名が訪問し、ひきこもりがちな老人を対象とした「音楽サロン」に参加し、奈良と京都に因んだ歌の合唱や合奏するなど交流を深めることができました。

（当会活動への協力状況）

（単位：円）

年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
団体会費	39,400	43,100	38,200
ふれあい基金	50,000	60,144	67,082
共同募金	57,164	60,602	56,000
歳末募金	-	8,900	-

USK では、広く社会福祉へ貢献することを目的に、サークルの参加者から寄付金として当会ふれあい基金等に寄せていただきました。令和元年度は、会館空調設備改修工事に伴い、11・12月の代表者会議中止のため歳末募金の案内を見送りました。

また、10月28日（月）の「クリーン運動」では、68名のサークル会員が、会館内及び会館前広場の清掃を実施しました。

社協だよりには、サークル会員の募集記事とシルバーウエルネス発表大会の告知を掲載し、広く市民に参加を呼びかけました。

なお、令和2年3月2日（月）実施予定の「年度末舞台展示発表大会」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

14. 障がいのある人の社会参加の支援

身体障がい者デイサービス事業や移動支援事業の展開から、障がいのある人の社会参加の支援を行ってきました。

(1) 身体障がい者デイサービス事業の実施

身体に障がいのある方が、社会参加の場を得、多くの方と交流ができるよう、ヨガ、手づくりなど、身体障がい者デイサービス事業として様々な教室を開催しています。利用者の身体機能の低下も見られる時がありますが、利用者同士の支え合いもある中で、安全面に配慮しながら運営しています。令和2年3月から新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、教室を休止しています。

(各教室の実施状況)

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
教室数	10	9	8
教室開催回数	147	137	112
登録人数(名)	53	29	45
のべ利用者数(名)	700	564	516

(各教室の開催状況)

教室名	年間開催数	登録利用者数	登録利用者内訳				延べ参加者数	1回当たりの参加人数	平均出席率
			肢体	視覚	聴覚	内部			
視覚裁縫	10	3	0	3	0	0	29	2.90	97%
卓球バレー	38	7	6	1	0	0	181	4.76	68%
書道	12	5	2	1	1	1	50	4.17	83%
コーラス	18	10	3	5	1	1	137	7.61	69%
手作り	10	4	1	2	1	0	33	3.30	83%
絵てがみ	7	2	2	0	0	0	7	1.00	50%
ヨガ	7	9	1	7	1	0	38	5.43	60%
遊びでできるリハビリ	10	5	1	4	0	0	41	4.10	82%
合計	112	45	16	23	4	2	516	4.61	

(2) 移動支援事業の取組み

車イス利用者にガイドヘルパーを派遣し、外出のための支援を行っています。令和元年度は新規利用者の相談はありませんでしたが、継続して社会参加をするために移動支援事業を活用いただいています。

令和元年 10 月からは、電動車いすも利用対象となりました。しかし、長年、移動支援事業を利用されていた方の高齢化もあり、依頼数は減少しています。また、登録ガイドヘルパーの高齢化も課題となっています。また、令和元年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、キャンセルが 11 件ありました。

(移動支援事業の状況) カッコ内は男/女

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
ヘルパー登録者数(名)	31(11/20)	9(4/5)	8(3/5)
利用登録者(名)	14(10/4)	13(9/4)	11(8/3)
派遣調整(件)	230	230	190
派遣実施数(件)	215	204	165

※平成30年度より、ヘルパー登録者数は、実際に派遣調整したヘルパー数になっています。

15. 2020 年きょうと地域福祉活動実践交流会の開催に向けた準備



2011 年(平成 23 年)の全国小地域福祉活動サミット in 宇治を契機に始まった、きょうと地域福祉活動実践交流会は、第 9 回目として、令和 2 年度は京都府市町村社会福祉協議会連合会と山城北エリアの社協(宇治市・城陽市・久御山町)との共催にて開催します。令和 2 年 11 月 28 日(土)に宇治市文化センター及び中央公民館での開催に向け、協議を進めています。

(担当者会議)

実施日	令和2年3月4日(水) 13:30~16:45
場 所	宇治市文化センター、中央公民館、宇治市総合福祉会館
目 的	宇城久及び府社協担当者の顔合わせと今後の進め方の確認
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・実践交流会会場の下見(会場動線、舞台配置、楽屋等の確認) ・開催までのスケジュール、予算、各役割の内容の確認 ・大まかな開催テーマ、内容案について協議
実施して	開催テーマの主な意見として、当会からは、「多様性を認めながら進める地域福祉の大切さ」、城陽市社協からは、「活動の担い手不足による、これまでの小地域活動の継続が困難である中での次の一手について」、久御山町社協からは、「地域のつながりが希薄化する中で、改めてのつながりづくり」という意見がありました。参加者層は、地域福祉活動関係者が多いということで、苦労談等、実際の状況を鑑みる企画も必要だと確認しました。次回担当者会議に向け、各社協で要綱案や当日の流れ案を出し合うことになりました。

第3章 各種相談から生活課題を把握し解決を図ります

相談事業で寄せられる「生活課題」を把握し、その解決に向けて考えてきました。相談事業以外でも、様々な場面で「生活課題」に関する相談は受け止めることができます。そのことに留意し、各取組みから生活課題の把握に努めるとともに、解決に結びつけにくい課題については、関係機関と連携し、資源開発にも努めてきました。

補助 宇治
委託 社協

1. ボランティア相談の実施

ボランティア相談から、当事者の声を拾うほか、活動者からの相談の中からも時代情勢の把握に努めてきました。

ボランティアをしたい人、ボランティアの力を必要としている人や団体の双方から、それぞれの思いの相談を受け、宇治ボランティア活動センターと共有しながら、その思いを具体化することに努めました。ボランティアをしたいと相談があった際には、その相談のきっかけや活動の希望を丁寧に聞き取るとともに、紹介に適すると思われる団体や施設にもボランティアの受入れ状況や条件を詳しく確認してから、お互いをつなぐことに努めました。合わせて、相談者自らが参加して、直接ボランティア先を探せるようにと、ボランティアマッチングサロンを紹介するなどを行いました。

相談者の傾向として「退職した後何か活動をと考える男性」「人との交流が苦手だが、何かできることはないかという男性」からの相談が目立ったほか、「体調を崩し通院していたが、回復の目途がたち何かを始めたいという人」からの相談もあります。

一方で、地域のボランティアの方からは「活動者が高齢化して担い手が不足している」「活動の準備の中で机の移動など力が必要な準備に男性の力が欲しい」という声がありました。

マッチングの一例として、人との交流が苦手だが、何か活動したいという男性に、地域の介護予防教室の会場設営と後片付けのみに参加いただくというつながりができました。今後も、活動現場の声を聞きながら、どのような担い手が求められているかを探っていきます。

(担当職員による月別ボランティア相談件数)

(単位:件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
6	6	18	25	14	16	5	30	14	17	18	20	189

※初回相談以降の対応件数を含む。(初回相談月にまとめてカウント)

(担当職員によるボランティア相談件数の推移)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
件数	173	200	189

(相談者の属性(所属))

(単位:名)

個人 (一般)	個人 V登録者	Vセンター登 録団体	学区福祉 委員会	ふれあい サロン	ボランティア グループ	当事者 団体
55	12	5	1	0	0	2

福祉施設	自治会・ 町内会	学校	福祉関係 機関	行政	企業	その他	合計
14	4	0	5	2	1	3	104

2. ふれあい福祉センターの相談事業の実施

補助
委託

宇治
社協

ふれあい福祉センターに寄せられる専門相談の内容から、時代情勢の把握に努めるほか、福祉なんでも相談などを通じて、相談者の声に寄り添い、社会資源へのつなぎだけでなく、社会参加の場へのつなぎなども行ってきました。

専門相談のほか、福祉なんでも相談などで相談者の課題解決に寄り添っています。必要に応じて、他機関、ボランティア団体等につないでいます。相談は、1回の相談で終わらず複数日、連日にわたって対応している人もありますので相談件数が増えています。あがってきたニーズを個別だけの課題だけでなく、地域の課題としてニーズ把握に努め、解決に向けて、生活支援コーディネーター、地域担当者、多職種等とも連携し、まちづくり、地域づくりに努めていきたいと思えます。

なお、今年度相談が多かった項目は、①家庭内トラブル②生計③福祉(高齢者・障害者)④健康・精神⑤結婚・離婚⑥相続・財産でした。①の家庭内トラブルは、連日の対応で件数多くなっています。②以下の項目については、時代の情勢が現れており、社会の課題、地域の課題にもつながっています。

(各相談の相談件数の推移)

(単位;件/日)

	福祉なんでも 相談	法律 相談	登記 相談	年金・社会 保険相談	多重債 務相談	成年後見 相談	合計	開設日
平成29年度	230	386	105	3	9	9	742	241
平成30年度	98	359	139	4	24	9	633	244
令和元年度	258	363	105	7	17	11	761	241

3. 暮らしの資金や生活福祉資金等の貸付相談の実施

補助
委託

宇治
社協

貸付相談や償還相談から生活課題を把握し、関係機関と連携しながら解決に努めました。

(1) 生活福祉資金貸付の実態

補助
委託

生活福祉資金では、暮らしていく上で一時的に資金が必要になった場合、世帯に貸付を行っています。その多くが教育支援資金で、10月以降の相談が多くなる傾向です。2020年度の進学予定者に対し大学・短大・専門学校の無償化に向けた国の施策が始まる事により、在学中の奨学金（支給）や減免制度の説明に時間を要すことが増えています。

また、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた生活福祉資金貸付制度における一時的な資金の緊急貸付が実施されることになり、膨大な時間を費やす事が予測されます。期間は令和2年3月25日から令和2年7月31日迄です。なお、令和元年度より生活福祉資金にかかる相談件数の報告を毎月行っています。

（生活福祉資金貸付実施実績）

資金種別		平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度	
		件数 (件)	金額 (円)	件数 (件)	金額 (円)	件数 (件)	金額 (円)
総合支援 資金	生活支援費	0	0	0	0	0	0
	生活支援費（増額）	0	0	0	0	0	0
	一時生活再建費	0	0	0	0	0	0
	住宅入居費	0	0	0	0	0	0
臨時特例つなぎ資金		0	0	0	0	0	0
福祉資金	生業	23	8,324,751	15	10,859,386	10	1,845,172
	技能習得						
	療養						
	一般福祉						
	緊急小口	12	1,030,000	2	183,000	3	300,000
教育支援 資金	教育支援費	52	16,972,000	61	32,033,000	45	15,601,000
	就学支度費	47	22,282,000	54	19,795,000	38	14,357,000
不動産担保型生活資金		0	0	1	11,844,000	0	0
合計		134	48,608,751	133	74,714,386	96	32,103,172

（2）くらしの資金貸付事業の実施

補助
委託

年に2回（夏期：7月、冬期：12月）に低所得者世帯を対象にくらしの資金の貸付（10万円限度）を実施しています。また、5月、9月、1月の年3回、残額通知と督促状を発行して、貸付者への連絡を行っています。貸付者の多くがひとり親家庭や高齢者の独居世帯などであり、保証人等を必要としない本貸付を活用しながら生計の立て直しを図っているケースも見受けられます。

（くらしの資金貸付件数）

（単位：件）

年度	夏期	冬期	合 計		貸付事由						
			件数	金額（円）	生活費	医療費	借金返済	失業	交通事故	養育	その他
平成 29 年度	8	14	22	2,150,000	18	1	0	1	0	0	2
平成 30 年度	8	14	22	2,080,000	20	0	0	1	0	0	2

令和元年度	6	9	15	1,440,000	13	2	0	0	0	0	0
-------	---	---	----	-----------	----	---	---	---	---	---	---

4. 福祉サービス利用援助事業の相談、支援と成年後見制度利用促進法に基づく支援の仕組みづくりへの参加

宇治 補助
社協 委託

福祉サービス利用援助事業の相談、支援から生活課題を把握し、解決に努めました。また、成年後見制度利用促進法に基づき展開される取組みからも生活課題の共有等に努めました。

(1) 契約状況

(実契約者数) 生・生活保護世帯 非・非課税世帯 他・その他の世帯 (単位:名)

区分	認知症 高齢者等			知的 障がい者等			精神 障がい者等			その他			合計		
	生	非	他	生	非	他	生	非	他	生	非	他	生	非	他
平成29年度	13	2	2	0	5	1	13	9	0	0	0	0	26	16	3
平成30年度	8	1	1	1	6	1	9	16	0	0	0	0	18	23	2
令和元年度	9	4	1	0	4	2	8	18	0	0	0	0	17	26	3

※平成30年度新規契約者(精神障がい、生活保護世帯)のうち、1名は成年後見人との再契約者

(新規利用者) 生・生活保護世帯 非・非課税世帯 他・その他の世帯 (単位:名)

区分	認知症 高齢者等			知的 障がい者等			精神 障がい者等			その他			合計		
	生	非	他	生	非	他	生	非	他	生	非	他	生	非	他
平成29年度	2	0	2	1	0	1	2	2	0	0	0	0	5	2	3
平成30年度	2	1	0	1	1	0	2	6	0	0	0	0	5	8	0
令和元年度	3	3	0	0	1	0	3	2	0	0	0	0	6	6	0

※令和元年度新規契約者(知的障がい者世帯)のうち、1名は成年後見人との契約者

※令和元年度新規契約者(精神障がい、生活保護世帯)のうち、1名は成年後見人との再契約者

(2) 相談調整等の件数の推移

支援開始をして、生活支援員の定期的な訪問のみならず、当会への電話での不安の訴えなどがあるケースも多くあります。そのような場合では、関係者と協議の場を持ち、支援方針等を統一しながら連携と互いの役割の確認をしながら関わっています。

(相談・連絡調整活動の実施状況) (単位:回)

区分	認知症 高齢者等	知的 障がい者等	精神 障がい者等	その他	合計
平成29年度	952	280	3,245	5	4,482
平成30年度	297	270	1,965	7	2,539
令和元年度	825	477	2,600	4	3,906

(3) 生活支援員の資質向上と相互交流・啓発による支援員増員

福祉サービス利用援助事業において「生活支援員」の養成や知識の研鑽により、利用者への相談援助を学ぶための生活支援員新任研修および現任研修（いずれも京都府社会福祉協議会主催）への参加を呼びかけました。宇治市より新任研修には1名参加をしました。現任研修は令和2年3月4日に行われる予定でしたが新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。また支援員同士の交流をはかるため5月30日に「お茶会」を開催し、17名が参加。日ごろの活動の意見交換を行いました。1月31日には第2回お茶会を開催し宇治おうばく病院の大塚剛史氏の講演と交流会を行いました。支援員17名、こころの健康推進員4名が参加されました。

(宇治市社会福祉協議会主催 支援員交流「お茶会」の開催)

日時	①令和元年5月30日(木)13:30~16:00 ②令和2年1月31日(金)13:30~16:30
場所	宇治市総合福祉会館
対象	①支援員登録者及び新任支援員(担当ケースを持っていない支援員も対象) ②支援員登録者及び新任支援員(担当ケースを持っていない支援員も対象) こころの健康推進員
参加者	①生活支援員17名(専門員3名) ②生活支援員17名(専門員3名)、こころの健康推進員4名
内容	①意見交換 ②講演「精神障害について～精神疾患の理解と対応のコツ～」 講師 宇治おうばく病院の大塚剛史氏
実施して	1 回目は、3グループに分かれて日頃感じている支援の仕方やあり方等について専門員も含め生活支援員同士の意見交換を行いました。その後歓談タイムとし支援員同士の交流を行いました。意見交換、交流が出来たことは生活支援員からもいい刺激になった等、好評でした。頂いたアンケートから次回学びたい研修のテーマが多く寄せられました。 2 回目は講演後、3グループに分かれて支援員、こころの健康推進員も交えいろんな思いや考えを話していただきました。大塚氏には各テーブルを回っていただき支援員が担当されている個々のケースについてもアドバイスをいただきました。頂いたアンケートから具体的に利用者さんの現実に対応していく仕方を学べた等の感想をいただきました。





(お茶会の様子)

(NPO法人山城権利擁護ネットワーク主催 福祉サービス利用援助事業の啓発)

日時	令和元年12月14日(土) 11:00~12:00
場所	ゆめりあうじ
目的	福祉サービス利用援助事業の啓発
内容	ビデオ上映を織り交ぜ本事業の説明
参加者	山城権利擁護ネットワーク主催 法人後見サポーター養成講座 受講者 14名
実施して	主に福祉施設の職員やケアマネジャーをされている(されていた)方の受講が多い様子でした。福祉にまつわる制度や施策の講義に加え、当事者の権利を擁護する取り組みの講義において、当事業の概要や利用者の状況、関わりの中で大切にしていることなどについてお話をしました。当事業の生活支援員への活動についても誘いましたが、支援員登録に結びつく方はおられませんでした。

(4) 山城北中部広域社協合同講座(研修や講座等の企画・実施)

福祉サービス利用援助事業を啓発する機会と、専門員の資質向上を目的に、山城北中部の7市町社協(宇治市・城陽市・久御山町・八幡市・京田辺市・井手町・宇治田原町)と京都府社協との協働で企画を立て、研修や講座等を実施しました。

(視察研修)

日時	令和元年8月26日(月) 10:00~16:00
場所	障害者就業・生活支援センターはびねす・地域生活支援センターふいっと
目的	福祉サービス利用援助事業の専門員の資質向上
内容	障がい者就労支援センターはびねす・地域生活定着支援センターふいっとの見学と意見交換会等
参加者	各市町村社協専門員 実習生
実施して	就労及び生活支援の取組みや矯正施設からすでに退所している方の福祉サービス利用等の相談支援等を学びました。 本取組みは、一市町村社協単独で企画するにはむづかしく、他市町村社協と連携して取り組んでいるからこそそのメリットがあります。今後も、そのメリットを活かし、福祉サービス利用援助事業の専門員の研鑽に努めます。

(啓発と交流)

日時	令和2年2月21日(月) 10:00~16:00
場所	文化パーク城陽
目的	対象エリアの弁護士、司法書士、行政書士、社会福祉士への事業啓発と交流
内容	京都府域における権利擁護・成年後見制度の在り方に関する検討委員会から委員長の一迺穂光彦氏を招いての事例検討会
参加者	各市町村社協専門員、弁護士、司法書士、行政書士、社会福祉士
実施して	ざっくばらんな意見交流ができました。それぞれの役割や職域を理解し、お互いの強みなど認識出来ました。この取組みに熱い思いを持っておられる方が参加をされており、今後も熱い思いを持った方を増やしていきたいと思っています。

(5) 専門員の資質向上

福祉サービス利用援助事業において「専門員」の資質向上を目的に関係機関の研修会に専門員 1 名が参加しました。また、担当職員会議に専門員 1 名、事例検討会に専門員 2 名が参加しました。

(京都府障害者・高齢者権利擁護支援センター主催 市町村等職員のための「障がい者虐待」「高齢者虐待」での虐待対応に関する研修会)

日時	令和元年5月28日(火)12:30~17:00
場所	キャンパスプラザ京都
内容	「障がい者虐待」「高齢者虐待」での虐待対応と事例検討
参加者	市町村職員 地域包括支援センター職員 社会福祉協議会職員 等
参加して	虐待が起こった背景にしっかり目を向けることの重要性と養護者への支援の大切さを学びました。また、組織で虐待ケースを対応する際の職員間の意思統一や対応のルール作り、役割分担を明確にしておくことが重要であることを再認識しました。

(第1回福祉サービス利用援助事業専門員・権利擁護事業担当職員会議)

日時	令和元年7月9日(火)10:45~16:00
場所	京都テルサ
内容	平成30年度事業報告及び令和元年度取組み方針の説明等・福祉サービス利用援助事業の運営・成年後見制度利用促進の取組みについて・ブロック別推進事業の取組みについて
参加者	各市町村社協の福祉サービス利用援助事業専門員・権利擁護事業担当
参加して	成年後見制度の利用促進と地域福祉権利擁護事業の一体的展開、地域における総合的な権利擁護を構築する施策の検討や非課税世帯の利用料についての現状について説明がありました。また利用者の心身状況の悪化に伴う費用支払い等が困難な時の対応については各社協から事例が出され明確なガイドラインの作成が必須であることがわかりました。

(第2回福祉サービス利用援助事業ブロック別専門員・権利擁護事業担当職員会議及び事例検討会)

日時	令和元年11月22日(金)10:00~16:00
場所	城陽市社会福祉協議会
内容	地域福祉権利擁護事業及び市町村における権利擁護体制の推進について・生活困窮者支援事業について・事例検討会
参加者	山城北・中・南ブロックの福祉サービス利用援助事業専門員・権利擁護事業担当職員
参加して	事例検討会ではキャッシュレス化と金銭管理の支援、利用者の自己決定尊重と生活破綻、成年後見制度へつなぐ難しさ等の事例について検討しました。家族機能や地域の機能の低下から制度に頼る現状がある中で利用者が豊かに生活していくことを考えると体制の整備や関係者同士につながりもさらに必要ある事を認識しました。

5. 宇治市共同募金委員会の助成相談から生活課題の把握と生活課題に向き合う団体の活動支援



宇治市共同募金委員会の事務局として、助成相談を受ける中で生活課題や地域課題の把握を行うとともに、その支援に向き合う活動者や団体の支援を行っています。

(1) 赤い羽根コラボ助成金

赤い羽根共同募金の配分金を活用し、当会の助成金制度として、平成26年度より「赤い羽根コラボ助成金」制度を実施してきましたが、平成30年度からは、宇治市共同募金委員会が直接募集・審査・助成を行う仕組みに変更され、運営・実施をされています。実際の募集事務等は募金委員会の事務局を併せ持つ当会が行っています。

助成金相談を入口にしながら、福祉活動団体の状況把握や課題についての情報収集を行うことが当会として必要と捉えており、活動や事業の原資となる共同募金との運動の連動性を大切にして相談対応をしています。

新たな市内の活動団体からの応募もありましたが、助成金として伝えることができた団体はゼロでした。しかし、その後の対応も大切にしており、申請内容から活動に必要な事柄を捉え、活用できる他制度等を情報提供したり、活動場所の発掘と確保に団体の方と一緒に頑張ってたりして、助成金の審査後も活動団体の方と接点を持ち、活動の支援に関わりを持っています。

業務量や働き方の見直しが事務局内外で声高に訴えられている中で、どのようにたくさんの団体との密な関わりを持っていくのか、またその方がいいのか、というジレンマを持っていますが、具体策を見出すことはできていません。局内での団体の活動状況の共有や、それぞれの担当業務からの団体のサポートの仕方等の工夫についての必要性を強く感じており、当会としての本来的な役割を改めて認識しているところです。

(赤い羽根コラボ助成金の助成状況)

年度	申請額(円)	決定額(円)	申請事業件数		決定件数	新規団体
平成 29 年度	3,704,500	3,637,000	運営費	11	11	3
			事業費	67	67	2
			新規事業	6	6	5
平成 30 年度	3,858,000	3,481,000	運営費	16	15	5
			事業費	67	65	2
			新規事業	6	3	2
令和元年度	4,059,000	3,448,000	運営費	23	20	0
			事業費	69	69	0
			新規事業	4	1	0

(赤い羽根コラボ助成金の助成状況)

	団体名	事業名	助成決定額(円)
1	宇治地区保護司会	社会を明るくする運動 7月強調月間運動	29,000
2	グリーンボランティア「あめノチ花」	運営助成	20,000
3	宇治市肢体障害者協会	運営助成	20,000
		卓球バレー交流会	46,000
		パソコン研修会	46,000
		市民とのふれあい	46,000
4	宇治市字幕つけサークルトトロ	運営助成	10,000
		字幕制作及び字幕つき上映会	14,000
5	宇治リーディングボランティア	運営助成	20,000
		視覚障害者向け各種情報の音訳事業	46,000
		リスナーとURVとの交流事業	46,000
		音訳ボランティア養成講座事業	46,000
6	宇治難病患者連絡会	難病患者、家族交流会「楽しい手作り木工教室」	46,000
		難病患者、家族交流会(総会時)	46,000
		講演会・交流会「介護は突然やってくる」※	70,000
7	まんぷく会	地域交流懇談会	46,000
8	わあわあネット	合同交流会	46,000
		ミニ交流会	46,000
9	御蔵山わんぱく親子の会	運営助成	20,000
		御蔵山わんぱく親子の会	46,000
10	宇治市子ども会連絡協議会	研修活動	46,000
		子ども会球技大会	46,000
		新春子ども大会	46,000
11	わくわく kyoto	SPACE SHOWTIME vol.5～ダンスとアートで ハートをつなぐ～	46,000
12	宇治市視覚障害者協会	点訳ボランティア養成講座	46,000
		研修旅行	46,000
		目の健康講座	46,000
13	精神保健サロン「元気です会」	精神障がい者サロン運営事業	46,000
		精神障がい者野外レクリエーション事業	46,000
		精神障がい者クリスマス会事業	46,000
14	宇治市介護者(家族)の会	運営助成	20,000
		会報「ほのぼの」発行、暑中見舞い、年賀状送付	46,000
		親睦交流会(介護体験発表とつどい)	46,000
		サロンせせらぎ(地域のつどい)	46,000
15	宇治市障害者スポーツ大会実行委員会	第43回宇治市障害者スポーツ大会	46,000
16	要約筆記サークル「エコー」	運営助成	20,000
		機関紙「エコー便り」発行	39,000

		中学校福祉体験学習	46,000
		難聴者コミュニケーション訓練	45,000
17	宇治手話サークル太陽	ミニ学習会・一日研修会	46,000
		社会見学(サークル員の手話通訳体験)	46,000
		クリスマス交流会・新春交流会	46,000
18	子ども部会 子どもサロン	運営助成	20,000
19	御蔵山ゆう輪蔵ぶ	わいわい倶楽部	36,000
20	ことのは	運営助成	20,000
		障害を持つ子の親のつどい	46,000
21	宇治市中途失聴・難聴者協会	機関紙「はと」発行発送	46,000
		みんなの手話勉強会	42,000
		聞こえの広場	46,000
22	ふうらい堂	運営助成	20,000
		ふうらい堂図書室図書の充実	46,000
23	山城ろうあ者新年大会第50回 実行委員会	運営助成	20,000
		山城ろうあ者新年大会	46,000
24	ローズマリーの会	ローズマリーの会	35,000
25	宇治おもちゃ箱	運営助成	20,000
26	NPO 法人アウンジャ	運営助成	20,000
		DV・FV 被害者の同行支援事業	46,000
		困難を抱える女性たちの生活指導事業	46,000
		困難を抱える女性たちのための相談支援事業	46,000
27	伊勢田わんぱく親子の会	運営助成	20,000
		スキー雪遊び学習	46,000
28	NPO法人カフェ頼政道	カフェ頼政道日帰りバス旅行	46,000
29	宇治市連合喜老会	機関紙発行	46,000
		友愛活動	46,000
		シルバーリーダー研修会	46,000
30	炭山区町内会助け合い 移動支援事業をすすめる会	運営助成	20,000
31	要約筆記サークル「やまびこ」	運営助成	20,000
		要約筆記者の研修	15,000
		聴覚障害及び団体への支援	33,000
		聴覚障害者と要約筆記の啓発	23,000
32	宇治市障害児・者父母の会	音楽療法	46,000
		レクリエーション	46,000
33	宇治市障害者福祉施設連絡 協議会	うじ・はんどめいどフェア	46,000
		市役所ロビーほっとショップ、オープンカフェうじ	46,000
34	宇治市父子会	父と子のつどい	46,000
35	ユニ宇治マンション自治会	敬老会	46,000
36	NPO 法人生活よろず相談所	精神保健サロン	46,000

	「たよりになる輪」	たよりになる輪音楽会	46,000
37	炭山地区まちづくり協議会	運営助成	20,000
38	京都府原爆被災者の会 宇治支部	被爆体験を語る語り部活動	36,000
		会員会員交流会及び健康相談	19,000
39	宇治市ろうあ協会	運営助成	20,000
		第20回敬老会	46,000
		社会見学	46,000
		やまぶき事業	46,000
40	宇治市連合母子会	歳末ひとり親家庭ふれあい事業	46,000
41	コンタクトパーソン「結」	運営助成	20,000
42	こはタウン	運営助成	20,000
		夏祭り	46,000
		ハロウィン	46,000

6. 宇治市地域共生社会推進事業の実施

補助
委託

平成30年度に引き続く2年目の事業として、宇治市の補助を受け、「宇治市福祉未来基金 地域共生社会推進事業（地域共生パイロット事業と公募型地域福祉活動支援事業）」を推進し、福祉課題解決の一助としました。

宇治市福祉未来基金を活用した地域共生社会推進事業「公募型地域福祉活動支援助成金」については、①子どもの貧困、②ひきこもり、③地域福祉活動の担い手確保を対象（分類）とする事業に対し、助成金を交付しました。

新たに助成を受けた団体は、福祉当事者からの発信をもとに定期的に、身近な地域で福祉活動の発信に取り組んでおられます。応募実績が少なかった背景に、平成31年度京都府「ひきこもり状態にある者のための社会参加支援事業補助金」への応募に切り替えられた団体もありました。また、助成金応募に係る相談をきっかけに、当事者家族会の運営について相談が寄せられるなど、当会への期待も高まっています。今後も、当事者が課題解決していくための助成金の制度設計や、有効活用できる方法を宇治市と検討を行うとともに、広報等にも力を入れていきたいと考えています。

（宇治市福祉未来基金 地域共生社会推進事業「公募型地域福祉活動支援助成金」交付実績）

団体名	事業名称／分類	申請内容	交付額（円）
夢たね発見ラボ	夢たね発見ラボ ／①、②	居場所運営、相談、子どもの育ち、自律サポート ZOOM 居場所（相談） まっくろけお茶会	45,000
宇治市地域福祉研究所	学校deカフェ「しゃべり場」／①、②、③	学習会・パネルディスカッション	150,000

（合計 195,000 円）

地域共生パイロット事業では、とくに当事者の声に寄り添い、ひきこもり当事者、当事者家族、支援団体との現状聴き取りを行いました。

また、新春福祉のつどいでは、「地域共生社会の実現に向けて」を講演会テーマに、当会事業の推進や福祉活動の啓発に効果が生まれました。社会福祉問題の顕在化は、本会の意義でもあります。

補助
委託

7. 中学生の学習支援事業の実施

生活困窮者自立支援法に基づく中学生の学習支援事業を行うなかで、子どもの貧困に対しての一助になるように努めることを目的に、宇治市から委託を受け、平成29年7月24日より「学習支援事業～うじピョンの学び舎～」を運営しています。

原則、週2回18時～20時で開催しています。定期試験前や夏休みや冬休みの長期休みの際には、開催時間を昼間14時～16時に変更し、週3回開催することもあります。また、生徒が福祉に係わるきっかけづくりとして、福祉まつりへ招待しました。

中学3年生の生徒に関しては進学に伴う教育支援資金の貸付相談に円滑につながるなど、保護者と生徒と普段から関わりがあることが活かした場面でした。

学習支援員には、中学生が少し先の将来の自分の姿を想像できるように主に大学生に参加をしてもらって活動しています。学習支援員の登録数は、支援相談員を含め21名ですが、定期的に参加を頂ける方が多かったです。平成30年度は、春の時期に高校3年生を対象にチラシの配布を行いました。令和元年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止もあり、実施に至りませんでした。

(学習支援事業の開催状況)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回数	8	8	8	10 (1)	11 (1)	9	9	8	9	8	7 (1)	0 (9)	95 (12)
参加人数 (のべ)	38	43	60	86	77	71	79	70	69	68	51	0	712
学習支援員 (のべ)	19	28	32	42	41	31	30	26	30	24	24	0	327

※()内の数字は、中止になった回数107回を計画していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大予防の観点で10回、警報等天候の理由で2回中止となりました。

(学習支援事業の実施推移)

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
回数	75	100	95
参加人数(のべ)	612	830	712
学習支援員数(のべ)	295	402	327

※平成29年度は7月より実施。令和元年度は、コロナウイルスの関係で10回中止となっています。

社会福祉法人としての法人運営の強化を行うとともに、当会の広報周知に努めるほか、福祉活動の拠点である総合福祉会館の管理運営を行いました。

地域福祉の推進のための財源づくりに努めています。

働き方改革などの時代の情勢に応じた職員の地域福祉支援のかかわり方の検討を行っています。

1. 三役会、理事会、評議員会の実施



正副会長会（三役会）、理事会、評議員会、監査、評議員選任・解任委員会を適宜開催しました。

6月10日の定時評議員会では新たな任期の役員（理事・監事）の選任をいただきました。

宇治市長との懇談の場は、11月15日に行いました。当会の現状を伝え、宇治市との連携強化について懇談をしました。

（三役会の開催状況）

三 役 会	第1回：5月 9日（木）13:00～ 総合福祉会館
	第2回：5月24日（金） 9:00～ 総合福祉会館
	第3回：6月 4日（火） 9:00～ 総合福祉会館
	第4回：7月 3日（水） 14:00～ 総合福祉会館
	第5回：8月29日（木）13:00～ 総合福祉会館
	第6回：9月 9日（月）14:00～ 総合福祉会館
	第7回：11月6日（水）14:00～ 総合福祉会館
	第8回：1月10日（金）13:00～ 総合福祉会館
	第9回：2月14日（金）9:00～ 総合福祉会館

（理事会・評議員会の開催状況）

理 事 会	第1回：5月24日（金）10:00～11:45 出席理事13名／出席監事2名
	①補欠評議員の選任候補者の推薦について（3名）
	②評議員選任・解任委員会の開催について
	③平成30年度事業報告について
	④平成30年度社会福祉事業拠点区分・収益事業拠点区分資金収支決算について
	⑤令元年度社会福祉事業拠点区分資金収支予算補正について
	⑥経理規程の一部改正について
	⑦理事候補者の選定について
	⑧監事候補者の選定について
⑨第169回評議員会の開催について	

	<p>⑩第2層生活支援コーディネーター業務委託に関する公募型プロポーザルの参加について</p> <p>第2回:6月10日(月)15:45~16:15 出席理事13名/出席監事1名</p> <p>①代表理事(会長)、副会長及び常務理事の選定について</p> <p>②補欠評議員選任・解任委員会委員の選任について</p> <p>第3回:8月29日(木)13:30~16:15 出席理事12名/出席監事1名</p> <p>①職員就業規則の一部改正について</p> <p>②嘱託職員に関する規程の一部改正について</p> <p>③評議員選任・解任委員会運営規程の一部改正について</p> <p>第4回:11月22日(金)13:30~ 出席理事13名/出席監事1名</p> <p>①令和2年度の当会の事業取組み案について(福祉まつり、福祉活動費)</p> <p>②嘱託職員退職手当取扱規程の一部改正について</p> <p>③指定寄付金の配分について</p> <p>④第170回 評議員会開催について</p> <p>第5回:1月22日(水)13:30~ 出席理事12名/出席監事1名</p> <p>①補欠理事候補者の選定について</p> <p>②職員給与規程の一部改正について</p> <p>③空き店舗の地域福祉推進にかかる拠点としての活用に関する契約について</p> <p>④令和元年度 社会福祉事業拠点区分資金収支予算補正案について</p> <p>第6回:3月5日(木)13:30~ 出席理事11名/出席監事1名</p> <p>①令和元年度 社会福祉事業拠点区分資金収支予算補正案について</p> <p>②令和2年度 事業計画案について</p> <p>③令和2年度 社会福祉事業拠点区分資金収支予算案について</p> <p>④令和2年度 収益事業拠点区分資金収支予算案について</p> <p>⑤宇治福祉まつりに関する検討委員会設置要綱の制定と検討委員会の構成について</p> <p>⑥職員就業規則の一部改正について</p> <p>⑦嘱託職員に関する規程の一部改正について</p> <p>⑧第171回評議員会の開催について</p> <p>⑨職員の人事について</p>
評議員会	<p>第1回 定時評議員会(第169回):6月10日(月)14:00~15:30</p> <p>出席評議員27名/出席理事12名/出席監事2名</p> <p><議案></p> <p>①平成30年度事業報告について</p> <p>②平成30年度社会福祉事業拠点区分・収益事業拠点区分資金収支決算について</p> <p>③令和元年度社会福祉事業拠点区分資金収支予算補正について</p> <p>④第2層生活支援コーディネーター業務委託に関する公募型プロポーザル参加について</p> <p>⑤理事の選任について</p> <p>⑥監事の選任について</p>
	<p>第2回 評議員会(第170回):1月22日(水)14:30~</p> <p><議案></p> <p>①本会理事の選任について</p> <p>②令和元年度社会福祉事業拠点区分資金収支予算補正について</p>

第3回 評議員会(第171回):3月26日(木)10:00~11:10

出席評議員27名/出席理事8名/出席監事1名

<議案>

- ①令和元年度社会福祉事業拠点区分資金収支予算 補正予算案について
- ②令和2年度事業計画案について
- ③令和2年度社会福祉事業拠点区分資金収支予算案について
- ④令和2年度収益事業拠点区分資金収支予算案について

(評議員選任・解任委員会)

実施日	令和元年5月27日(月)14:00~14:15
出席者	評議員選任・解任委委員4名/出席理事1名
内容	①第2号評議員(1名)の選任、②第3号評議員(1名)の選任、③第4号評議員(1名)の選任について

(期末監査)

実施日	令和元年5月16日(木)13:30~15:00
出席者	出席監事2名/出席理事1名
内容	①平成30年度 業務監査、②平成30年度 会計監査

(中間監査)

実施日	令和2年1月14日(火)13:30~15:00
出席者	出席監事2名/出席理事1名
内容	①平成31年度・令和元年度 業務監査、②平成31年度・令和元年度 会計監査

(宇治市法人指導監査)

実施日	令和2年2月28日(金)13:30~15:00
出席者	宇治市地域福祉課 3名 事務局4名
内容	平成30年度 法人にかかる監査

2. 会員募集の増強



当会事業運営の基盤である会員募集の強化を図るため、役員、事務局職員が連合町内会等への会合に参加して住民会員募集への協力依頼を行うことを始め、様々な活動場面で会員募集について広報しました。しかし、自治会・町内会を取り巻く状況が難しくなっている中で、取組みにご協力いただくこと自体が難しいなど、ご協力いただける世帯の減少などもあり会員募集にかかる状況は厳しさを増しています。

住民や市民による身近な地域の福祉活動を支えるために、引き続き学区福祉委員会と連携し、また、木幡地域については、事務局より、丁寧に町内会・自治会等に理解と協力を求めました。

(令和元年度 会員募集の状況) (単位 円)

	当会の会費・寄付金
平成29年度	13,968,837
平成30年度	12,991,148
令和元年度	12,458,359

(令和元年度 会員種別ごとの状況) (単位 円)

	住民会費	寄付金	賛助会費	事業所会費	団体会費	施設会費	特別賛助会費
平成29年度	9,261,000	1,726,803	233,769	984,000	594,000	295,000	873,800
平成30年度	8,724,500	1,539,775	150,572	948,500	534,901	308,000	784,900
令和元年度	8,537,000	1,422,592	210,667	888,000	544,600	306,000	549,500

3. 宇治市共同募金委員会の運営と赤い羽根共同募金運動、歳末助け合い募金運動の参画



10月1日から3月31日まで展開される赤い羽根共同募金(種別:戸別、グループ、個人、街頭、資材、学校、その他)と、12月1日から12月31日まで展開される歳末たすけあい募金運動を様々な方法で市民に周知しました。

運動を進めるにあたり、宇治市共同募金委員会の事務局として、運営委員会(7月25日、9月11日)、募金推進会議(8月1日、9月20日)を開催しました。また、より運動性を高めることと、共同募金の配分の透明性を担保するために、審査委員会(7月2日、9月12日、3月2日)を開催し、共同募金の地域での需要や求められる役割について議論を重ねました。

啓発に使用するチラシに、赤い羽根共同募金はコラボ助成金助成団体の活動を、歳末たすけあい募金にはHot!ふれあいサロン助成金助成サロンの活動の様子を記載することで、共同募金の使途を明確にし、寄付文化の醸成に努めました。

募金ツールに Quo カードを利用したり、市内の駅や店頭などの街頭で呼び掛けるなど、様々な方法で啓発と協力を呼びかけました。また、民間保育園や学校を中心とした子どもから、ボランティア活動者、高齢者まで、あらゆる世代に募金協力を呼びかけました。

(募金実績) (単位:円)

	一般募金	歳末募金	合計
平成29年度	11,394,875	7,899,845	19,294,720
平成30年度	10,677,427	7,912,127	18,589,554
令和元年度	10,776,739	7,408,463	18,185,202

4. 1㎡のできる社会貢献(自動販売機設置事業)の推進

企業等の社会貢献を進める観点から様々な法人や事業所、地域の学区福祉委員会等のご協力を得ながら飲料用自動販売機を設置しています。令和元年度は、チラシを作成し新春福祉のつどいで配布したほか、社協だよりへの掲載をしました。その効果もあって、2件の候補について情報をお寄せいただきましたが、設置の条件に合わず、新規設置には至りませんでした。

(自動販売機手数料収益上半期実績) (単位:円)

	設置場所	総額
1	(株)ミヤモト	177,001
2	旦椋公会堂	194,409
3	開地域福祉センター	87,193
4	東宇治地域福祉センター	192,410
5	桑田建設	125,149
6	リエゾン宇治おおくぼ	85,862
7	リジュール柳田	204,132
8	マークアップ大久保	110,948
9	デイサービスみやび	89,194
10	ユニチカユニオン宇治	198,697
11	木幡公民館	66,649
12	ハーモニー東風館	28,001
13	広野公民館	17,543
14	総合福祉会館	24,487
15	あさくら診療所	130,120
16	まごころ西宇治	89,723
17	神明神社	109,773
18	地域福祉支援センター宇治小倉	76,666
19	宇治市役所西側駐輪場	115,425
20	個人私有地(西笠取)	101,415
合 計		2,224,797

(自動販売機設置事業の推移)

年度	台数	金額(円)
平成29年度	18	1,715,830
平成30年度	23	2,058,687
令和元年度	20	2,224,797

5. 寄附金の受入れと「ふれあい基金」「ボランティア基金」「災害時支援活動準備金」の適正運用



様々な方からの寄付の受入れ及び「ふれあい基金」「ボランティア基金」の運用による財源確保に努めました。

(寄付(物品)の推移) (下段:円)

年度	ふれあい基金寄付	災害時支援活動準備金※1	指定寄付	寄付物品
	件数・金額	件数・金額	件数・金額	件数・内容
平成29年度	14件 1,075,237	1件 10,571	2件 110,000	8件 座布団,お米 20 kg,クリスマスケーキ 30個 他
平成30年度	15件 910,298	3件 19,200	2件 110,000	3件 未使用切手、クリアファイル
令和元年度	15件 494,498	2件 14,130	2件 266,000	11件 車いす、はがき・切手、スチールラック、いす他

※会館窓口ふくろう募金等、複数回寄付先は1件とカウント。

※災害時支援活動準備金は、住民会費の2%分を含まず、指定寄付として受けた分のみ掲載。

(各基金運用実績) (単位:円)

年度	ふれあい基金			
	運用益、債券売却益	基金積立	基金取崩し	基金額
平成29年度	1,019,830	21,564,757	7,335,000	194,964,695
平成30年度	889,163	2,010,298	0	196,974,993
令和元年度	12,431,207	1,356,386	0	198,331,379

年度	ボランティア基金 (121,788,928円)	
	運用益、債券売却益	基金額
平成29年度	317,049	121,788,928
平成30年度	319,042	121,788,928
令和元年度	2,877,606	121,788,928

6. 多角的な広報



当会活動や地域福祉活動・ボランティア活動に取り組んでいる団体、施設等の情報を社協だよりの発行や、SNS 等を活用した広報、洛タイ新報様のご協力による記事掲載などにより、地域福祉活動や当会の活動を知らない人たちに向け、情報を発信してきました。

(広報紙「社協だよりの」発行)

実施日	①6月15日号 ②9月15日号 ③3月15日号
実施場所	市内約 80,000 世帯にポスティング
実施目的	当会事業の周知および各種団体、活動情報の集約と発信
内容	<p>①特集：地域福祉の推進、サロン活動 /平成 30 年度収支報告・令和元年度予算/1㎡でできる社会貢献事業(自販機設置の取り組み)/宇治市福祉未来基金 地域共生社会推進事業/各種無料専門相談/宇治市老人センターサークル協議会/平成 30 年度社協会費、ふれあい寄附金、寄付物品、災害時支援活動準備金協カ一覧</p> <p>②特集：赤い羽根共同募金運動(主な助成先、税制優遇措置、インターネット募金)/宇治福祉まつりの開催、赤ちゃんボランティア募集/介護予防事業(B型リハビリ教室)/宇治市老人センターサークル協議会シルバーウェルネス発表大会/介護者リフレッシュ事業/1㎡でできる社会貢献事業(自販機設置の取り組み)/うじピョンの地元に出かけよう(各種催し紹介)</p> <p>③特集：学区福祉委員会募集/宇治から始める地域共生社会/赤い羽根コラボ助成金受付開始・サロン助成金・会費ご協力のお礼/1㎡でできる社会貢献/B型(地域参加型)リハビリ教室案内/宇治市老人福祉センターの紹介/うじピョンの地元に出かけよう(各種催し紹介)</p>
実施して	<p>当会の事業広報と同時に各種団体活動の情報集約と発信など、社会福祉協議会の役割を担う意識を持ち発行しました。社協だよりの記事掲載により、当事者家族会が実施する相談につながり、孤立防止できたとの声もありました。今後も各種グループの催しを市内全体にPRすることで、市民の地域福祉推進・ボランティア活動の振興へ関心を高められるよう発行を行います。</p>

(月イチうじピョンの〇〇な話の掲載)

実施日	毎月末(不定期)
実施目的	当会の認知度の向上および、市民に地域福祉・ボランティア活動を伝える。
内容	4月:赤い羽根コラボ助成 5月:生まれて初めてのボランティア活動 6月:宇治から始める地域共生社会 7月:介護予防で地域貢献 8月:介護者リフレッシュ事業 9月:福祉の担い手とは(実習生) 10月:キンモクセイは福祉まつりの季節 11月:自分たちの地域のことは自分たちの手で(実習生) 1月:宇治から始める地域共生社会 2月:また会える日を楽しみに 3月~ココロの距離~
実施して	洛タイ新報のご厚意で掲載をいただいています。特に2月以降の掲載は、新型コロナウイルス感染症の中で取組みの中止、変容を求められることにも触れています。現状、告知が多くなっており、地域福祉活動や現場での思いを投げかけることができなと感じています。次年度以降は、その点に留意して掲載をしていきたいと考えています。

7. 総合福祉会館の管理運営(指定管理)

補助
委託

総合福祉会館を利用される皆様に活用していただきやすい施設を目指し、また、福祉活動の拠点となる会館として管理運営を行いました。宇治公民館の閉鎖に伴い、地域での活動場所が限られ少しずつ福祉会館のサークルでの利用も増えてきています。しかし、2階のロビーのヘルストロンの撤去により、個人の利用が減少傾向にあります。また、令和元年11、12、1月に空調工事があり休館や会場の利用に変更をいただくなどがありました。加えて3月には新型コロナウイルス感染症拡大防止のための活動の自粛要請と個人利用が中止になったことから、利用者数は減少しています。

(総合福祉会館団体利用状況)

(単位:名)

	会館日数	1階利用計		2階利用計		3階利用計		合計	
		団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数
平成29年度	298	831	7,493	2,173	38,206	1,117	19,162	4,121	64,861
平成30年度	299	980	8,067	2,225	38,653	1,163	20,358	4,368	67,078
令和元年度	286	787	6,582	2,005	33,954	1,113	19,312	3,905	59,848

※1階:身体障害者福祉センター、2階:老人福祉センター、3階:福祉センター

(老人福祉センター個人利用人数)(単位:名)

	男性	女性	合計
平成29年度	3,261	2,318	5,579

平成 30 年度	2,308	1,656	3,964
令和元年度	1,988	1,777	3,765

(浴室利用者数) (単位:名)

	男性	女性	合計
平成 29 年度	2,764	2,107	4,871
平成 30 年度	2,214	1,849	4,063
令和元年度	1,831	1,866	3,697

8. 役職員の研修

宇治
社協

社会情勢に応じた当会の運営や地域福祉推進を図るために必要なスキルアップを推奨しました。その中で、各自が自己研鑽に努めることを推奨することも積極的に取り入れ、自主研修制度(1年間に参加費2万円までを支給する制度)を設けており、その活用においても推奨しています。

令和元年度は、全体研修として職場内での研修を2回開催しました。職場内の働く環境を整えるための話し合いを、平成30年度に引き続き行いました。また、新人職員については、宇治市の新人職員研修の場にも参加させていただくこともしました。また、全職員を対象にして、新春福祉のつどいの講演のビデオを見て、地域共生社会についての理解を職員間でも深めました。

また、係長以上を対象に、レゴ®シリアスプレイ®メソッドと教材を活用し、チームビルディングを学びました。その様子は、講師を務めてくださった合同会社カーニバルライフのブログでも紹介されています。
(<https://carnivallife.jp/blog/blog-886/>)

社会福祉士の養成課程での現場実習においては、令和元年度は2校2名の実習生の受入れを行いました。

引き続き、職員研修等を通じて時代に即した地域福祉実践のできる職員養成に努めていきます。



(職員全体研修の様子)



(チームビルディング研修の様子)